

年 報

令和7年度事業概要

45

2026



公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

坂の上の古墳 (金井水頭山B遺跡 吾妻郡東吾妻町)

金井水頭山B遺跡は、吾妻川右岸の榛名山北麓末端上の僅かな平坦部に立地する。標高は400～430m程、北側の金井廃寺跡からは30m以上高い見上げる崖上に位置する。調査の結果、古墳(円墳)2基のほか、縄文時代の土坑、ピットなどを確認した。

調査した古墳2基のうち、1号古墳は、調査地の南側で検出された直径約15mの円墳である。南半は林道で失われていたが、北側には幅約2mの周堀が巡り、墳丘の裾部分には4～5段ほどの葺石が確認され、頂部付近からは複数の人物などの形象埴輪が出土した。

写真の2号古墳は、平坦部の北縁で検出された直径15mの円墳である。この古墳は『上毛古墳綜覧』に掲載された原町76号墳と考えられる。南の山側に幅2.5m、深さ1mを超える周堀が巡り、埋土には浅間粕川テフラ(As-Kk)が埋没していた。墳丘盛土や石室は榛名二ツ岳渋川テフラ(Hr-FA)の上に構築され、羨道及び玄室は西側に開口、羨道より西先に並べられた礫は暗渠排水施設と考えられる。石室の床付近や裏込めからは釘やリング状の鉄製品、床面や裏込めと掘り方からは、完形の碧玉や緑色凝灰岩製の管玉、棗玉、白玉、土玉などの玉類が出土した。石室の天井石や側壁の石材は榛名山起源の粗粒輝石安山岩で構成されていた。2号墳の表土や墳丘盛土の崩落土、周堀の埋土から多くの埴輪片が出土したが、ほとんどは円筒埴輪であった。石室奥側の裏込めから玉類や鉄製品などが出土したことから、石室を造作する際に何らかの祭祀が行われ、その際に意図的に入れられた可能性が考えられる。検出された1号及び2号古墳の年代は、墳丘盛土が6世紀初頭の榛名二ツ岳渋川テフラ(Hr-FA)を直接覆うこと、埴輪を伴うこと、2号古墳の周堀から出土した土師器杯や須恵器甕などの遺物の年代観から6世紀前半と考えられる。

1号古墳の周堀からわずかに北側に外れた位置で、長径175cm、短径84cmの長円形の土坑が確認され、馬の上下の歯が出土した。出土した馬は比較的若い馬であり、1号古墳に伴い埋葬された可能性がある。

序

昭和53年7月に創立した当事業団は、群馬県内の埋蔵文化財の発掘調査及び研究を行うとともに、埋蔵文化財保護思想の涵養と普及に関する事業を通じて、県民文化の振興に寄与してまいりました。

令和7年度は、国土交通省関連で4遺跡、公共事業関連で35遺跡、合計39遺跡の発掘調査を実施いたしました。上信自動車道吾妻東バイパス事業に伴い調査した金井水頭山B遺跡では、1号墳北側の土坑から馬の歯が出土しました。古墳時代における馬の埋葬例としては吾妻地域で初めての発見であり、当地域において馬の飼育が行われていたことを示す貴重な成果となりました。また、西毛広域幹線道路事業に伴い調査した保渡田屋敷廻り遺跡では、中世保渡田城の一部を調査し、堀や井戸等の遺構が発見されました。

整理事業では、国土交通省関連で4遺跡、公共事業関連で39遺跡、合計43遺跡の整理作業を実施し、19冊の発掘調査報告書を刊行いたしました。下谷戸B遺跡では出土事例の少ない縄文時代草創期の隆起線文土器や石器について、また陣谷遺跡では古代の大型木製馬鍬をはじめとする多くの木製品等についてまとめるなど貴重な成果を報告することができました。

令和7年9月には、当事業団が発掘調査を実施した金井遺跡群(金井東裏遺跡・金井下新田遺跡)から出土した甲冑をはじめ、土器や石器など総数1,801点が国の重要文化財に指定されました。これは、本県の貴重な歴史遺産が高く評価されたものであり、調査に携わってきた関係者にとって大きな喜びであるとともに、その保存・活用に携わる責任の重さを改めて実感する機会となりました。

当事業団は、これからも発掘調査、整理事業及び普及啓発事業を着実に推進し、本県の県民文化の振興と発展に引き続き寄与してまいります。今後とも変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げ、序文といたします。

令和8年7月

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

理 事 長 大久保美智子

例 言

1. 本書は、公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団の令和7年度の事業概要をまとめたものである。
2. 付篇は、県及び県内各市町村の協力によって作成された資料に基づいて、当事業団年報紀要委員会が編集した。
3. 本年報編集は、当事業団年報紀要委員会が行った。その構成は以下のとおりである。
委員長：黒澤照弘(研究1課上席調査研究員(研究1課長))
委 員：橋本 淳(研究2課上席調査研究員・研究総括)
山中 豊(研究1課主任調査研究員・研究総括)
齊田智彦(研究2課主任調査研究員・研究総括)
塩谷貴彦(調査1課主任調査研究員)
多田宏太(普及課専門員)
鈴木崇司(調査2課調査研究員)
事務局：加辺比呂志(調査1課専門調査役)

凡 例

- 各遺跡の調査概要中に記載する火山噴出物堆積層等の名称と年代は以下のとおりである。
- ・天明泥流：天明3年(1783)の浅間山噴火に伴う泥流
 - ・As-A : 天明3年(1783)降下 浅間Aテフラ
 - ・As-Kk : 大治3年(1128)降下 浅間粕川テフラ
 - ・As-B : 天仁元年(1108)降下 浅間Bテフラ
 - ・Hr-FP : 6世紀中葉降下 榛名山ニッ岳伊香保テフラ
 - ・Hr-FA : 6世紀初頭降下 榛名山ニッ岳渋川テフラ
 - ・As-C : 3世紀末降下 浅間Cテフラ
 - ・As-YP : 1.6万年前降下 浅間板鼻黄色テフラ
 - ・As-Ok1 : 2万年前降下 浅間大窪沢第1テフラ
 - ・As-BPG : 2.8～2.3万年前降下 浅間板鼻褐色テフラ
 - ・AT : 3万年前降下 始良丹沢火山灰

目 次

序	
I 事業団の概要	1
1 設立の趣旨	1
2 目的	1
3 沿革	1
4 組織・名簿	2
5 理事会及び評議員会等の開催状況	4
6 令和7年度主要行事	6
7 会計経理の状況	6
II 事業概要	7
1 発掘調査事業概要	7
(1)幹線交通関連埋蔵文化財発掘調査	7
(2)公共開発関連埋蔵文化財発掘調査	7
2 整理事業概要	9
(1)幹線交通関連埋蔵文化財整理事業	9
(2)公共開発関連埋蔵文化財整理事業	9
3 普及事業概要	10
(1)資料と施設の公開	10
(2)指導者の派遣	18
(3)情報誌等の刊行	19
(4)資料の保存	20
III 研究活動概要	20
1 職員自主研究活動指定研究	20
IV 各遺跡の発掘調査概要	21
V 付篇	56
1 令和7年度群馬県内発掘調査一覧	56
2 令和7年度群馬県内整理事業一覧	59
3 令和7年度群馬県内発掘調査報告書一覧	62
4 令和7年度群馬県内発掘調査現地説明会・ 関連行事等一覧	66

I 事業団の概要

1 設立の趣旨

歴史的に東国古代文化の中心であった本県には、著名な古墳を中心に多くの遺跡が存在する。特に、我が国の旧石器文化の研究の端緒になった岩宿遺跡、1万3千基余にも及ぶとされる古墳の濃密な分布など、本県文化の特徴を物語る遺跡の存在は県民にとって大きな誇りであり、これら文化財を共有の財産として保護し、後世に伝えていくことは、我々の責務である。

しかし、一方では、県民生活の安定向上を図るための施策として、各種の開発や交通網の整備などが昭和48年度以降急激に増加した。その結果、開発と文化財保護の調整が大きな課題となり、その対応が急務となった。

こうした背景の下で、文化財保護法の理念に基づき、開発と文化財保護の調和を図るための施策の一環として、昭和53年度に財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が設立された。

その後、平成18年6月「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」の施行を受け、平成24年度から公益財団法人へ移行し、現在に至っている。

2 目的

県内の埋蔵文化財の調査及び研究を行うとともに、埋蔵文化財の保護思想のかん養と普及を図り、もって地域の文化の振興に寄与する。

3 沿革

昭和53年7月15日	法人設立認可(事務局を前橋市に設置、業務開始)
昭和55年4月8日	事務局を勢多郡北橋村に移転
昭和59年4月1日	分室を北橋村に設置
昭和61年4月1日	関越自動車道上越線調査事務所を多野郡吉井町に設置
平成5年3月30日	分室を移転
平成6年3月31日	関越自動車道上越線調査事務所を閉所
平成8年7月1日	発掘情報館開館
平成13年4月1日	東毛調査事務所を伊勢崎市に設置
平成14年4月1日	八ッ場ダム調査事務所を吾妻郡中之条町に設置
平成15年6月1日	八ッ場ダム調査事務所を吾妻郡長野原町に移転
平成17年4月1日	岩神分室を前橋市に設置
平成18年2月20日	市町村合併により住所表示変更(渋川市北橋町下箱田)
平成18年3月31日	東毛調査事務所を閉所
平成19年1月28日	岩神分室を閉所
平成24年3月31日	分室を閉所
平成24年4月1日	公益財団法人設立及び解散登記申請・移行
平成28年12月21日	八ッ場ダム調査事務所を吾妻郡東吾妻町に移転
平成30年7月14日	創立40周年記念式典を挙行
令和3年3月31日	八ッ場ダム調査事務所を閉所
令和3年4月1日	東吾妻分室を吾妻郡東吾妻町に設置
令和7年3月31日	東吾妻分室を閉所

4 組 織・名 簿

令和8年3月31日現在

ア 役員 総数10名(理事8名、監事2名)

役 員 名	氏 名	備 考
理 事 長	下 山 正	学識経験者
常務理事	山 崎 浩通	学識経験者
理 事	山 岸 裕美子	群馬医療福祉大学社会福祉学部教授
理 事	金 子 昌彦	群馬県商工会議所連合会会長
理 事	鈴 木 雅浩	学識経験者
理 事	茂 木 和祐	一般財団法人群馬経済研究所常務理事
理 事	神 保 佑史	学識経験者
理 事	右 島 和夫	学識経験者
監 事	荒 木 伸夫	公認会計士
監 事	秋 池 武	下仁田町歴史館館長

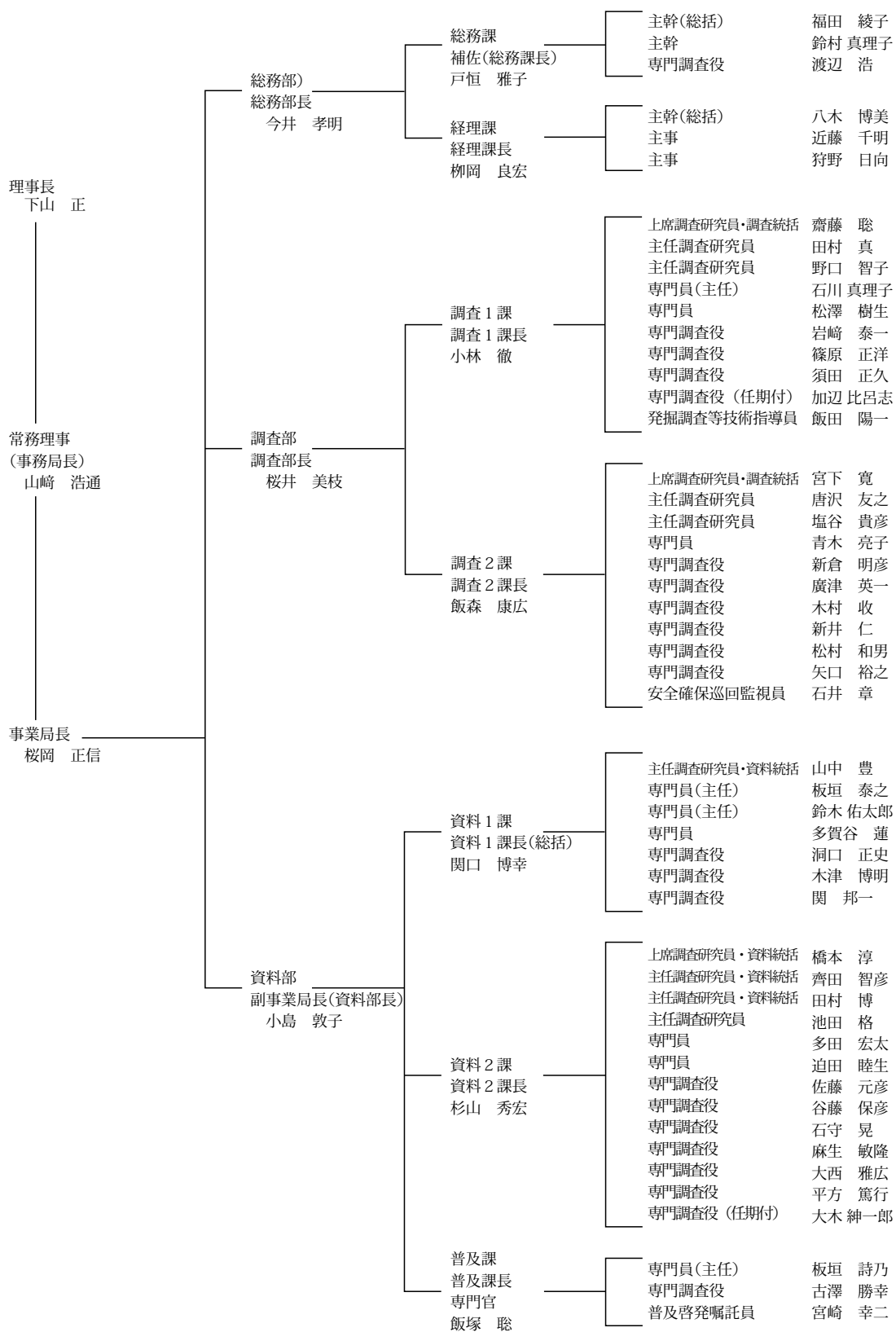
イ 評議員(総数8名)

役 員 名	氏 名	備 考
評 議 員	関 戸 明子	群馬大学共同教育学部教授
評 議 員	津 金 澤 吉茂	元事業団常務理事
評 議 員	大 貫 秀美	上毛新聞社編集局生活文化部長
評 議 員	梨 子 田 友和	群馬テレビ報道局報道部長
評 議 員	野 口 華世	共愛学園前橋国際大学教授
評 議 員	鈴 木 耕太郎	高崎経済大学准教授
評 議 員	久 保 田 順一	群馬県文化財保護審議会専門委員
評 議 員	石 橋 幸子	群馬県地域創生部文化財保護課長

ウ 特別顧問(総数3名)

役 員 名	氏 名	備 考
特別顧問	佐 藤 信	元理事
特別顧問	中 野 三智男	元理事長
特別顧問	向 田 忠 正	元理事長

工 事務局 総数63名(派遣職員18名、法人職員42名、嘱託職員 3 名)



令和8年3月31日現在

5 理事会及び評議員会等の開催状況

会議名	開催日	現在数		議案
	開催場所	出席者	出席者	
第159回 定例理事会	令和7年6月6日 発掘情報館研修室	現在数	8	1 令和6年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業報告及び事業報告の附属明細書について
		出席者	5	2 令和6年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表について
		監事出席	2	3 令和6年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団正味財産増減計算書について 4 令和6年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書について 5 令和6年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団財産目録について 6 令和6年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団キャッシュ・フロー計算書について 7 監査報告について 8 報告事項 （1）専決処分の報告について ア 令和6年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の事業計画変更及び収支予算の補正（補正2号）について
第74回 定時評議員会	令和7年6月24日 発掘情報館研修室	現在数	8	1 令和6年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表について
		出席者	8	2 令和6年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団正味財産増減計算書について 3 令和6年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書について 4 令和6年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団財産目録について 5 令和6年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団キャッシュ・フロー計算書について 6 監査報告について 7 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団役員の選任について 8 報告事項 （1）令和6年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業報告及び事業報告の附属明細書について （2）専決処分の報告について 令和6年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の事業計画変更及び収支予算の補正（補正2号）について

会 議 名	開 催 日	現 在 数		議 案
	開 催 場 所	出 席 者		
第160回 理事会	令和7年7月1日	現在数	8	1 提案事項 (1)公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団理事長 (代表理事)の選定について
	書面	出席者	8	
第161回 理事会	令和7年7月1日	現在数	8	1 提案事項 (1)公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の特別顧問の委嘱について
	書面	出席者	8	
第162回 理事会	令和7年10月31日	現在数	8	1 報告事項 (1)常勤理事の職務執行状況について
	発掘情報館研修室	出席者	8	
		監事出席	2	
評議員・理事 監事・特別顧問 合同現地視察	令和7年10月31日	参加者	13	1 下里見上ノ原遺跡の発掘状況 (令和7年度西毛広域幹線道路建設工事に伴う埋蔵文化財の発掘調査) 2 観音塚考古資料館(高崎市八幡町)
第163回 理事会	令和8年3月2日	現在数	8	1 令和7年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画の変更及び収支予算の補正(補正1号)について 2 令和8年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画について 3 令和8年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団収支予算について 4 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団特定費用準備資金(創立50周年記念事業)規程の制定について 5 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団一般正味財産増加額の積立について 6 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団役員賠償責任保険について 7 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団第75回評議員会の招集について 8 報告事項 常勤理事の職務執行状況について
	発掘情報館研修室	出席者	7	
		監事出席	2	
第75回 評議員会	令和8年3月12日	現在数	8	1 令和7年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の事業計画変更及び収支予算の補正(補正1号)について 2 令和8年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画について 3 令和8年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団収支予算について 4 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団役員及び評議員並びに特別顧問の報酬等支給基準の一部改正について
	発掘情報館研修室	出席者	7	

6 令和7年度主要行事

4月1日 辞令交付式
 4月20日 令和6年度最新情報展第2期関連講演会
 5月30日 監事監査
 6月1日～10月12日 最新情報展第1期「古代の吾妻郡を探る」
 6月6日 第159回理事会
 6月24日 第72回評議員会
 7月1日 第160回・161回理事会(書面)
 7月2日～7月4日 全国安全週間現場巡回
 7月6日 ぐんま遺跡報告会
 7月20日～8月31日 夏休み宿題教室
 7月29日～7月31日 埋蔵文化財専門講座(教員コース)
 9月7日 土器づくり(～10月12日)・野焼き体験(11月16日)
 9月21日 最新情報展第1期関連講演会
 9月24日～9月26日 埋蔵文化財専門講座(行政担当者コース)
 9月29日・10月1日・3日 全国労働衛生週間現場巡回
 10月26日～5月17日 最新情報展第2期「縄文土器がつくられはじめた頃」
 10月28日 公開普及デー
 10月31日 第162回理事会
 10月31日 役員等現地視察(下里見上ノ原遺跡等)
 12月6日 ぐんま考古学講座 箱崎和久氏「災害で埋もれた群馬の建築遺構」
 1月13日 大人のための冬の古代体験教室(～2月19日)
 2月1日 最新情報展第2期関連講演会
 3月2日 第163回理事会
 3月7日 現地説明会(保渡田押出遺跡等)
 3月12日 第75回評議員会
 3月31日 退職辞令等交付式

7 会計経理の状況

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

ア 決算額

(単位：円)

	当 年 度	前 年 度
経 常 収 益	2,733,833,562	2,949,574,730
経 常 費 用	2,671,350,018	2,877,810,529
経 常 外 収 益	0	0
経 常 外 費 用	321,632	2,683,044
税引前当期正味財産増減額	62,161,912	69,081,157

Ⅱ 事業概要

1 発掘調査事業概要

(1) 幹線交通関連埋蔵文化財発掘調査

委託者 国土交通省

事業名称	番号	遺跡名	所在地	遺跡の内容	面積㎡	調査期間
一般国道50号(前橋笠懸道路)	1	社南遺跡	伊勢崎市野町	旧石器時代の文化層2枚。上位から細石刃、ナイフ形石器。縄文時代～古代竪穴建物、近世の掘立柱建物。	2,170.07	令7.4.1～令8.1.31
	2	荒子遺跡	伊勢崎市香林	旧石器時代のAs-BPG下の剥片類。縄文時代～平安時代の竪穴建物、水田。	9,986.53	
	3	前橋市0950遺跡	前橋市二之宮町	旧石器時代石器67点。古墳時代～平安時代の竪穴建物。中近世のピット・井戸。	4,048.25	
一般国道17号上白井地区歩道	4	宇津野・有瀬遺跡	渋川市上白井	縄文時代土坑・ピット。古墳時代積石塚2基。古代竪穴建物。	3,150.78	令7.6.1～令7.8.31

(2) 公共開発関連埋蔵文化財発掘調査

委託者 群馬県県土整備部

事業名称	番号	遺跡名	所在地	遺跡の内容	面積㎡	調査期間
高崎神流秩父線(矢田工区)	5	池五反田遺跡	高崎市吉井町池	縄文時代の竪穴建物、古墳時代～中世の溝・土坑・ピット	7,808.64	令7.11.1～令8.3.31
(主)前橋伊香保線	6	穴薬師古墳	北群馬郡吉岡町大久保	縄文時代～中近世の溝・土坑	151.24	令7.7.1～令7.7.31
(主)高崎安中富岡線(西毛広域幹線道路高崎工区)	7	三ツ寺鍛冶街道遺跡	高崎市三ツ寺町	古墳時代～平安時代の竪穴建物・掘立柱建物・土坑・採掘坑・ピット	3,113.03	令7.4.1～令7.3.31
	8	棟高漆街道遺跡	高崎市棟高町	古墳時代～平安時代の竪穴建物・掘立柱建物・土坑・採掘坑・ピット		
	9	保渡田押出遺跡	高崎市保渡田町	古墳時代～平安時代の竪穴建物・掘立柱建物。断層・地割れ・噴砂の痕跡確認。中世屋敷の掘立柱建物・土坑・井戸・溝	5,965.46	
	10	保渡田橋場遺跡	高崎市保渡田町	平安時代の竪穴建物・掘立柱建物・水場遺構	3,796.07	
	11	保渡田屋敷廻り遺跡	高崎市保渡田町	古墳時代の竪穴建物、中世城郭の土坑・井戸・溝・ピット	2,957.80	
	12	上芝大杉遺跡	高崎市箕郷町上芝	古墳時代の竪穴建物・FA泥流下畑・FP泥流下水田。中世墓群	2,373.42	
(一)井野停車場線(井野町工区)	13	井野岡貝戸遺跡	高崎市井野町	弥生時代～平安時代の竪穴建物・土坑	153.29	令7.4.1～令7.4.30
(一)下里見安中線(西毛広域幹線道路高崎安中工区)	14	下里見中原遺跡	高崎市下里見町	縄文時代竪穴建物、弥生時代竪穴建物・礫床木棺墓、古墳時代～平安時代の竪穴建物	8,763.48	令7.4.1～令8.3.31
		下里見上ノ原遺跡	高崎市下里見町			
	15	下里見若林遺跡	高崎市下里見町	縄文時代～古墳時代の竪穴建物	2,112.68	
(都)3・6・10号南北中央幹線(他1路線)	16	町北遺跡	安中市安中	中近世の土坑・井戸・ピット	63.92	令7.10.1～令7.10.31

事業名称	番号	遺跡名	所在地	遺跡の内容	面積㎡	調査期間
(一)安中富岡線(西毛広域幹線道路安中富岡工区)	17	一本木遺跡	安中市安中	古墳時代の竪穴建物・ピット	1,083.55	令7.4.1～令7.4.30
	18	小萩山Ⅰ遺跡・小萩山Ⅱ遺跡・小萩山Ⅲ遺跡	安中市大竹	縄文時代の竪穴建物・土坑、弥生時代の竪穴建物・方形周溝墓	9,061.37	令7.5.1～令8.3.31
	19	上野尻遺跡	安中市安中	奈良・平安時代の竪穴建物・土坑、中近世の掘立柱建物・土坑・井戸	1,123.88	令7.9.1～令7.10.31
	20	長竜遺跡	安中市安中	奈良・平安時代の竪穴建物・土坑、中世屋敷の掘立柱建物・土坑・井戸・溝	1,027.56	令7.11.1～令8.1.31
	21	天在遺跡	安中市大竹	平安時代の水田、中近世の土坑・溝	2,807.59	令8.1.1～令8.3.31
大規模特定河川(一)利根川	22	西上之宮遺跡	伊勢崎市西上之宮町	古墳時代～平安時代の竪穴建物・土坑、Hr-FA下水田、As-B下水田、中世の竪穴建物・掘立柱建物	13,569.75	令7.4.1～令8.3.31
	23	東上之宮遺跡	伊勢崎市東上之宮町	古墳時代の流路・木器多量出土、平安時代～近世溝・As-A下畑	7,013.19	
	24	上福島関根遺跡	佐波郡玉村町上福島	中近世墓・As-A下畑	868.73	
国道146号小森3期工区	25	小滝Ⅱ遺跡	吾妻郡長野原町羽根尾	天明泥流下畑	345.22	令7.7.1～令7.7.31
(一)植栗伊勢線	26	植栗山根A遺跡	吾妻郡東吾妻町植栗	Hr-FA下祭祀遺構	74.03	令7.9.1～令7.10.31
	27	植栗中原遺跡・小刈沢B遺跡	吾妻郡東吾妻町植栗	Hr-FA下祭祀遺構・水田、中近世土坑・溝・ピット	1,135.89	
(都)3・4・11号中央通り線	28	館林城跡・城下町	館林市本町一丁目	近世の掘立柱建物・土坑・溝・ピット・鍛冶炉	405.08	令7.4.1～令7.6.30
上信自動車道吾妻東バイパス	29	金井水頭山B遺跡	吾妻郡東吾妻町金井	縄文時代の土坑、古墳時代の古墳・土坑	1,479.09	令7.8.1～令7.11.30
	30	玉科遺跡	吾妻郡東吾妻町川戸	縄文時代の竪穴建物・土坑・集石	2,676.45	令7.4.1～令7.5.31
上信自動車道吾妻東バイパス2期	31	五町田上ノ山遺跡	吾妻郡東吾妻町五町田	縄文時代～古代の竪穴建物・土坑、中近世の畑・溝	1,693.00	令7.10.1～令7.12.31
	32	五町田十二ノ前遺跡	吾妻郡東吾妻町五町田	縄文時代～中近世の土坑・ピット・畑	1,625.81	令7.10.1～令7.11.30
	33	柳沢B遺跡	吾妻郡東吾妻町新巻	縄文時代の竪穴建物・列石・配石・埋設土器、中近世の土坑・ピット	254.73	令7.9.1～令7.9.30
	34	月夜野A遺跡	吾妻郡東吾妻町新巻	縄文時代の土坑・ピット、中近世の畑	295.78	

委託者 量子科学技術研究開発機構

事業名称	番号	遺跡名	所在地	遺跡の内容	面積㎡	調査期間
量子機能創製研究センター棟	35	綿貫金堀遺跡	高崎市綿貫町	近代の旧陸軍岩鼻火薬製造所関連の暗渠水路・レンガ集中	1,498.00	令7.4.1～令7.4.30

2 整理事業概要

(1) 幹線交通関連埋蔵文化財整理

委託者 国土交通省

事業名称	番号	遺跡名	所在地	報告書名	発行日	整理期間
一般国道50号(前橋笠懸道路)	1	中堀西遺跡	伊勢崎市赤堀今井町	769集『中堀西遺跡』	令8.3.23	令7.4.1～令8.1.31
	2	社南遺跡	伊勢崎市野町			令7.4.1～令8.3.31
	3	多田山東遺跡・今井北原遺跡	伊勢崎市赤堀今井町			令7.12.1～令8.3.31

(2) 公共開発関連埋蔵文化財整理

委託者 群馬県県土整備部

事業名称	番号	遺跡名	所在地	報告書名	発行日	整理期間
苗ヶ島飯土井線	4	前橋市0327・0367遺跡	前橋市飯土井町	765集『前橋市0327・0367遺跡』	令7.12.25	令7.5.1～令7.10.31
南新井前橋線バイパス	5	清水貝戸遺跡	北群馬郡榛東村新井	759集『清水貝戸遺跡』	令7.9.26	令7.5.1～令7.7.31
山王赤生田線(楠工区)	6	陣谷遺跡	館林市楠町	770集『陣谷遺跡』	令8.3.25	令7.4.1～令8.1.31
西毛広域幹線道路(安中富岡工区)	7	道前久保遺跡	安中市上間仁田			令7.10.1～令8.3.31
	8	一本木遺跡	安中市安中			令7.11.1～令8.3.31
新巻市城線	9	柳沢遺跡	吾妻郡東吾妻町新巻	758集『柳沢遺跡』	令7.6.30	令7.4.1～令7.4.30
利根川河川改修(伊勢崎・玉村工区)	10	樋越薬師遺跡	佐波郡玉村町樋越	754集『樋越薬師遺跡』	令7.6.30	報告書刊行のみ
	11	西上之宮遺跡	伊勢崎市西上之宮町			令7.4.1～令8.3.31
	12	東上之宮遺跡・若宮古墳群	伊勢崎市東上之宮町	771集『東上之宮遺跡・若宮古墳群』	令8.3.26	令7.4.1～令8.3.31
	13	上福島関根遺跡	佐波郡玉村町上福島			令7.4.1～令8.3.31
西毛広域幹線道路(高崎工区)	14	保渡田押出遺跡・保渡田裸薬師遺跡・三ツ寺鍛冶街道遺跡	高崎市保渡田町・三ツ寺町			令7.4.1～令8.3.31
	15	保渡田坂詰遺跡・保渡田阿弥陀遺跡	高崎市保渡田町・三ツ寺町	772集『保渡田坂詰遺跡』	令8.3.24	令7.4.1～令8.3.31
	16	上芝大杉遺跡	高崎市箕郷町上芝			令8.2.1～令8.3.31
	17	下芝谷ツ遺跡	高崎市箕郷町下芝			令7.12.1～令8.3.31
国道354号(羅漢工区)	18	羅漢町遺跡	高崎市羅漢町	767集『羅漢町遺跡』	令8.1.18	令7.8.1～令7.11.30
小平塩原線(滝ノ上工区)	19	下谷戸B遺跡	みどり市大間々町塩原	755集『下谷戸B遺跡』	令7.6.30	令7.4.1～令7.4.30
昭和インター線(森下工区)	20	森下宮原遺跡	利根郡昭和村森下	761集『森下宮原遺跡』	令8.1.27	令7.4.1～令8.7.31
上信自動車道吾妻東バイパス	21	小田沢遺跡・下泉A遺跡・下泉B遺跡	吾妻郡東吾妻町植栗	762集『小田沢遺跡・下泉A遺跡・下泉B遺跡』	令8.3.25	令7.4.1～令7.9.30
	22	深沢遺跡	吾妻郡東吾妻町川戸	756集『深沢遺跡』	令7.8.28	令7.4.1～令7.4.30
	23	岩井山根B遺跡	吾妻郡東吾妻町岩井	763集『岩井山根B遺跡』	令8.2.17	令7.4.1～令7.9.30
	24	下郷古墳群	吾妻郡東吾妻町川戸			令7.5.1～令8.3.31
	25	水頭B遺跡	吾妻郡東吾妻町金井	764集『水頭B遺跡』	令7.12.25	令7.5.1～令7.9.30
	26	金井水頭山遺跡	吾妻郡東吾妻町金井			令7.10.1～令8.3.31
上信自動車道吾妻東バイパス2期	27	月夜野A遺跡	吾妻郡東吾妻町新巻	766集『月夜野A遺跡』	令8.3.25	令7.4.1～令7.10.31
	28	柳沢遺跡	吾妻郡東吾妻町新巻			令7.10.1～令8.3.31
	29	沢ノ上B遺跡	吾妻郡東吾妻町植栗	757集『沢ノ上B遺跡』	令7.8.13	令7.4.1～令7.4.30
	30	箱島下寄居遺跡	吾妻郡東吾妻町箱島	760集『箱島下寄居遺跡』	令8.3.16	令7.4.1～令7.8.31
	31	柳沢B遺跡	吾妻郡東吾妻町新巻			令7.11.1～令8.3.31
	32	奥田鎌原遺跡・道上B遺跡・道上C遺跡	吾妻郡東吾妻町奥田			令8.2.1～令8.3.31

委託者 群馬県環境森林部

事業名称	番号	遺跡名	所在地	報告書名	発行日	整理期間
予防治山事業	33	中小坂鉄山・製鉄所跡	甘楽郡下仁田町下小坂	768集『中小坂鉄山・製鉄所跡』	令8.1.28	令7.8.1～令7.11.30

3 普及事業概要

(1) 資料と施設の公開

A 資料の利用と貸出

当事業団では、群馬県埋蔵文化財調査センターが所蔵する考古資料の貸出や利用に係る管理事務を群馬県地域創生部文化財保護課より受託している。資料の貸出は、各種の学校教育への利用や博物館等の公的機関による展示公開を目的とした資料借用申請を受けて行われる。また、資料の利用とは、学術研究目的の考古資料の実見、観察、写真撮影、実測等を当センター内において行うことをいう。

令和7年度の実績は以下の表のとおりである。

ア 資料の利用と貸出し数

内 訳	貸 出			利 用		
	件 数	写真等	遺 物	件 数	写真等	遺 物
1 博物館・資料館等	28	62	1,739	9	0	220
2 学 校	7	0	119			
3 地域社会	3	0	3			
4 公的編纂事業	6	15				
5 埋蔵文化財行政	30	122	482	18		809
6 委託者						
7 民間事業所						
8 研究者	8	6	409	39	1	1,950
9 報道関係	5	104				
10 出版社	18	66				
11 行 政	4	15				
小 計	106	504	2,757	66	1	2,979
合 計	貸出・利用＝172件/ 写真等 505点/ 遺物5,736点					

イ 資料の主な貸出先

貸 出 先	期 間	企 画 等	主な貸出資料
渋川市	令7.4.1～ 令8.3.31	金井東裏遺跡に関する活用、広報等に使用	金井東裏遺跡関係写真データ
株式会社国書刊行会	令7.4.3～ 令7.7.1	国書刊行会『1000の縄文』(仮題)縄文ZIN編集部[編書]に掲載するため	三原田・糸井宮前・深沢・白石大御堂・房谷戸遺跡写真データ
群馬大学教育学部附属中学校	令7.5.25～ 令7.6.15	中学校社会科の授業で使用	三原田・日高・有馬遺跡出土資料
甘楽町立新屋小学校	令7.6.16～ 令7.6.30	社会科の授業で使用するため	学校貸出セット
群馬県立歴史博物館	令7.6.16～ 令7.9.26	第112回企画展「伊勢神宮と群馬」に展示	今井神社・波志江今宮・行力春名社・多比良追部野遺跡出土資料
愛知県陶磁美術館	令7.8.26～ 令9.2.10	巡回展「This is SUEKIー古代人のカタチ、無限大!」に展示。愛知・兵庫・山口・長崎・東京の美術館巡回	中郷田尻・荒砥北三木堂・鳥羽・少林山台・奥原古墳群出土須恵器

貸 出 先	期 間	企 画 等	主な貸出資料
山梨県立考古博物館	令7.9.1～ 令8.1.8	第42回特別展「PAPUA×」	上白井西伊熊・白井北中道遺跡写真データ
松坂市文化財センター	令7.9.10～ 令7.12.14	令和7年度文化財センターはにわ館特別展「西のはにわと、東のはにわ」での展示パネル・図録等を使用	塚廻り古墳群写真データ
読売新聞前橋支局	令7.11.17～ 令7.11.21	読売新聞群馬版「ぐんまの美と智」への掲載	金井東裏遺跡写真データ
韓国放送公社(KBS)	令8.1.1～ 令8.1.11	KBSの番組で使用	金井遺跡群写真データ
九州国立博物館	令8.2.15～ 令8.8.31	特集展示「科学の眼でみる遼の金工品」での展示・リーフレットに使用	鳥羽遺跡画像データ・出土資料

B 施設の利用

ア 施設の見学など

令和7年度における発掘情報館の見学や研修等の来館者総数は6,476人を数え、うち日曜開館時の来場者は1,686人であった。開館日数は252日であった。

月別の来場目的別来場者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
見 学	306	302	281	709	1,582	422	491	255	203	237	181	372	5,341
資料調査等	9	7	15	0	5	11	8	11	11	2	5	3	87
行政視察	0	0	0	0	9	18	0	0	0	0	0	0	27
研 修	32	0	0	115	0	86	0	0	6	0	31	0	270
学校・教委	13	12	51	16	27	23	30	10	15	19	22	15	253
図 書	46	56	53	50	42	48	45	34	25	31	25	43	498
計	406	377	400	890	1,665	608	574	310	260	289	264	433	6,476

イ 図書室の利用

図書の利用状況は、貸出数2,424冊、利用者数498人であった。新規図書受入数は2,028冊であり、蔵書総数は137,613冊となった。月・金・日曜日を一般利用者に開放している。

貸出状況

内 部 貸 出	370件	1,424点
外 部 貸 出	253件	1,000点
貸 出 総 数	623件	2,424点

図書登録状況

新規登録数	2,028点	
登 録 内 訳	移 管	39点
	寄 贈	1,769点
	購 入	220点
収 蔵 量	137,613点	

図書室収蔵量の推移

事業年度	累計点数	増減分
令和元年度末	127,006点	2,450点
令和2年度末	129,427点	2,421点
令和3年度末	131,761点	2,334点
令和4年度末	139,932点	2,171点
令和5年度末	135,942点	2,010点
令和6年度末	135,985点	2,101点
令和7年度末	137,613点	2,028点

*令和7年度…除籍1,037冊

新規収蔵資料の概要

埋蔵文化財発掘調査報告書	60.90%
市町村誌など	0.10%
一般文化財・民俗関係	0.49%
埋蔵文化財・考古学に関連する雑誌類および各機関の紀要・年報・ニュースレターなど	31.21%
埋蔵文化財・考古学および歴史などに関連する単行本・全集・展示図録など	6.71%
辞典・図鑑・地図など	0.59%

C 行事

ア 最新情報展

期 間	令和7年1月12日(日)～令和8年5月17日(日) 令和6年度第2期、令和7年度第1期・第2期
主 催	群馬県地域創生部
実施機関	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館資料展示室
展 示	(令和6年度)第2期 「発掘で分かる自然災害―予測は難しい。でも準備はできる―」 期 間：令和7年1月12日(日)～5月18日(日) (参加者1,513人) 関連講座：令和7年4月20日(日)(参加者32人)＜記録が伝える群馬の災害史～過去に学ぶ将来への備え＞ ①「平安時代の大災害の記録はどのように記録され、何を伝えてきたか―弘仁地震(818)年と天仁浅間山噴火(1108)年」 講師：飯塚 聡 ②「歴史災害から学ぶ―天明3(1783)年浅間山噴火による泥流災害被害」 講師：古澤勝幸
	(令和7年度)第1期 「古代の吾妻郡を探る―上信自動車道発掘成果の最新情報―」 期 間：令和7年6月1日(日)～10月12日(日) (参加者3,114人) 関連講座：令和7年9月21日(日) (参加者53人) ①「古代の吾妻郡を探る」 講師：飯塚 聡 ②「銅鏡について」 講師：桜岡正信
	(令和7年度)第2期 「縄文土器がつくられはじめた頃―みどり市下谷戸B遺跡の発掘調査から―」 期 間：令和7年10月26日(日)～令和8年5月17日(日) (参加者1,878人) 関連講座：令和8年2月1日(日) (参加者31人) ①土器から探る縄文草創期の下谷戸B遺跡 講師：橋本 淳 ②石器から探る縄文草創期の下谷戸B遺跡 講師：関口博幸



令和7年度最新情報展ポスター



第1期 展示講演会



第2期 展示ギャラリートーク

イ 埋蔵文化財専門講座

期 間	①教員コース	令和7年7月29日(火)～31日(木)
	②埋蔵文化財行政担当者コース	令和7年9月24日(水)～26日(金)
主 催	群馬県地域創生部	
実施機関	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団	
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館研修室	
対 象	①県内公立学校に勤務する教員 ②市町村教育委員会の文化財関係職員	
内 容	①埋蔵文化財の調査成果を年間の学習指導計画の中に取り入れて生徒の学びを豊かにし、将来の地域を支える市民として生徒の基礎教養を育むとともに、教員においては地域の身近な教材として活用する視点の育成と地域の歴史文化への基礎知識の涵養を図る。	
	②県が実施している埋蔵文化財調査の知識や技術、普及活動等を紹介し研修してもらい、市町村の埋蔵文化財と発掘調査・整理、普及活用など、地域の学校教育と生涯学習の資質向上に資する。	
① 教員コース (参加者 16名)	7月29日(火) 参加者16名	開講式 石田 真(県地域創生部文化財保護課)・桜岡正信 講義1：埋蔵文化財の基礎講座 小島敦子 講義2：文化財学習とその意義 飯塚 聡 講義3：授業で使える発掘情報館！ 板垣詩乃 講義4：発掘情報館の体験学習 古澤勝幸・宮崎幸二
	7月30日(水) 参加者23名	講義5：授業で使える文化財Ⅰ「群馬の歴史と文化財」古墳時代 迫田睦生 講義6：授業で使える文化財Ⅱ「金井遺跡群出土品答申記念展開設」 杉山秀宏 講義7：授業で使える文化財Ⅲ「群馬の歴史と文化財」近世・近代 調査事例報告1(八ッ場ダム調査による近世集落と民家) 中沢 悟(川場村文化財専門員・東吾妻町文化財調査委員・元当事業団員) 調査事例報告2(中小坂鉄山・製鉄所発掘調査) 松澤樹生
	7月31日(木) 参加者13名	発掘体験実習：飯塚 聡 下里見上ノ原遺跡(高崎市下里見町地内)

② 埋蔵文化財 行政担当者 コース (参加者 25名)	9月24日(水) 参加者15名	開講式 石田 真(県地域創生部文化財保護課)・桜岡正信 講義1:文化財保護行政の動勢と埋蔵文化財の取扱い 石田 真・樋口典昭(県地域創生部文化財保護課) 講義2:補助金事務の取扱い 今城未知(県地域創生部文化財保護課) 講義3:発掘調査から整理作業まで 桜井美枝 講義4:埋文事業団の資料の保存管理及び普及活動の取組について 板垣詩乃・古澤勝幸 講義5:整理作業における3D実測の活用について 関口博幸
	9月25日(木) 参加者12名	講義6:群馬の地形・地質と災害考古学 小島敦子 講義7:古墳時代の土器と基礎知識 大木紳一郎 講義8:古代の土器と基礎知識 桜岡正信 講義9:中世の石造文化財 新倉明彦
	9月26日(金) 参加者11名	講義10:報告書作成に関するデジタル編集の基礎知識 ーインデザインによる編集ー 齊田智彦 講義11:脆弱遺物の取扱いと埋文事業団の保存処理業務 板垣泰之 特講:ハッ場ダム関連発掘調査からわかった天明泥流下の近世の民家 中沢 悟(川場村文化財専門員・東吾妻町文化財調査委員・元当事業団員)



教員コース(発掘体験)



埋蔵文化財行政担当者コース

ウ 夏休み宿題教室

期 間	令和7年7月20日(日)～8月31日(日)
主 催	群馬県地域創生部
実施機関	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館体験学習室
対 象	県内小中学生とその保護者
内 容	古代体験「勾玉づくり」「カラフル勾玉づくり」「カラー粘土勾玉」「再生琥珀による勾玉づくり」「縄文アクセサリー」「埴輪・土器づくり」
参 加 者	2,294人



夏休み宿題教室の様子

エ ぐんま遺跡報告会

日 時	令和7年7月6日(日)		
主 催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団		
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館		
内 容	開会挨拶	理事長	向田忠正
	発表1 下郷古墳群(東吾妻町)		池田 格
	発表2 中小坂鉄山・製鉄所跡(下仁田町)		松澤樹生
	発表3 陣谷遺跡(館林市)		鈴木佑太郎
	発表4 天竜遺跡(東吾妻町)		迫田睦生
	閉会挨拶	事業局長	桜岡正信
参 加 者	76人		



発表1 下郷古墳群



発表2 中小坂鉄山・製鉄所跡

オ 公開普及デー

期 間	令和7年10月28日(火)		
主 催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団		
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館・本館・調査研究館・収蔵庫		
内 容	勾玉づくり、拓本体験、発掘体験、缶バッヂ作成、3Dデジタル画像公開、バックヤードツアー(予約制)を実施		
参 加 者	185人		



遺物収蔵庫見学



発掘体験

カ 縄文土器・土偶をつくる・焼く

期 間	令和7年9月7日(日)～11月16日(日)
主 催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館・中庭
内 容	縄文時代・縄文土器に関する学習、土器づくりと野焼きを予約制で実施
参 加 者	20人



おき火の状況



土器を焼く

キ 大人のための冬の古代体験教室

期 間	令和8年1月13日(火)～2月19日(木)
主 催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館体験学習室
内 容	アングイン編み・ミニチュアレプリカ作り・銅鏡レプリカ作り・トンボ玉作りを予約制で実施
参 加 者	39人



鏡の鋳型作り



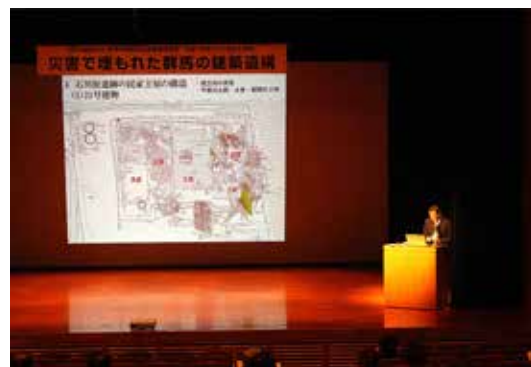
型に錫を流し込む

ク めんま考古学講座

期 間	令和7年12月6日(土)
主 催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬県公社総合ビル多目的ホール
講 師	奈良文化財研究所都城発掘調査部長 箱崎和久先生
演 題	「災害で埋もれた群馬の建築遺構」
参 加 者	78人



チラシ



箱崎先生の御講演の様子

ケ 発掘調査現地説明会

遺 跡 名	期 間	場 所	来場者	内 容
保渡田屋敷廻り遺跡	令和8年3月7日(土)	高崎市保渡田町	173人	三ツ寺・保渡田地区に向けて開催

(2) 指導者の派遣

ア 学校への体験学習講師派遣

実施日	学 校	内 容	学 年	人 数
6月18日	伊勢崎市立名和小学校	土器づくり	小学6年生他	78人
6月20日	前橋市立月田小学校	勾玉づくり	小学6年生他	20人
6月23日	前橋市立粕川小学校	火おこし	小学6年生他	62人
7月11日	共愛学園小学校	土器づくり	小学6年生他	63人
12月19日	前橋市立粕川小学校	土器作り	小学6年生他	62人

計285名



名和小土器づくり写真



共愛学園土器づくり写真

イ まいぶん出前講座

実施日	依 頼 者	演題・内容	派 遣 職 員	人 数
11月21日	金井南牧自治会	国指定重要文化財金井遺跡群出土品について	副事業局長(資料部長) 小島敦子	25人

(3) 情報誌などの刊行

A 『年報』44 令和5年度事業概要 令和7年7月31日発行（当事業団ホームページに掲載）

号	頁	内 容
44	1	I 事業団の概要 1 設立の趣旨 2 目的 3 沿革 4 組織・名簿 5 理事会及び評議員会等の開催状況 6 令和6年度主要行事 7 会計経理の状況
	10	II 事業概要 1 発掘調査事業概要 2 整理事業概要 3 普及事業概要
	12	III 研究活動概要 1 職員自主研究活動指定研究
	22	IV 各遺跡の発掘調査概要
	58	V 付篇 1 令和6年度群馬県内発掘調査一覧 2 令和6年度群馬県内整理事業一覧 3 令和6年度群馬県内発掘調査報告書一覧(事業団分含む) 4 令和6年度群馬県内発掘調査現地説明会・関連行事等一覧

B 『研究紀要』44 令和8年3月23日発行

号	頁	論 文 名	執 筆 者
44	1	群馬県地域における「焼町土器」の地域性予察	石川真理子
	21	土笛と呼ばれる縄文時代の土製品について	石守 晃
	35	群馬県渋川地域における後期弥生社会の成立と展開 ー有馬遺跡の検討を中心にー	大木紳一郎
	55	上毛野地域における中・大型円墳の築造	今城未知
	65	古墳時代における集落変遷の画期及び火山噴火の影響 ー群馬県榛名山東麓及び子持山南東麓の集落動向ー	坂口 一
	73	岩櫃城北方の城砦群の検討	飯森康広
	83	赤城山南麓扇状地のテフラ層序と堆積物の年代 ー伊勢崎市波志江中屋敷東遺跡の事例ー	早田勉・岩崎泰一

C ホームページの運営

当事業団ホームページでは、行事案内や発掘調査の最新情報などを掲載して情報発信に努めた。

(4) 資料の保存

保存処理室の業務

対象	作業項目	対象遺跡	数量
木製品関係	木器関係の保存処理	5 遺跡	74点
	木器関係のプレパレート作成	—	—
	木器関係の実測	1 遺跡	112点
	木材樹種同定	—	—
金属製品	金属器の錆落とし	17遺跡	681点
	X線写真撮影	25遺跡	1022点
	赤外線写真撮影	—	—
土層	土層剥取	—	—
現場対応	遺物の取り上げ	1 遺跡	12点
遺物修復	金属・木・竹製品修復	18遺跡	83点
	特殊脆弱遺物精査・クリーニング・強化処理	9 遺跡	4 点
市町村対応	X線写真撮影	1 遺跡	1 点
	土層剥取	1 遺跡	1 点
	赤外線写真撮影	1 遺跡	2 点
	助言・指導	2 遺跡	2 点

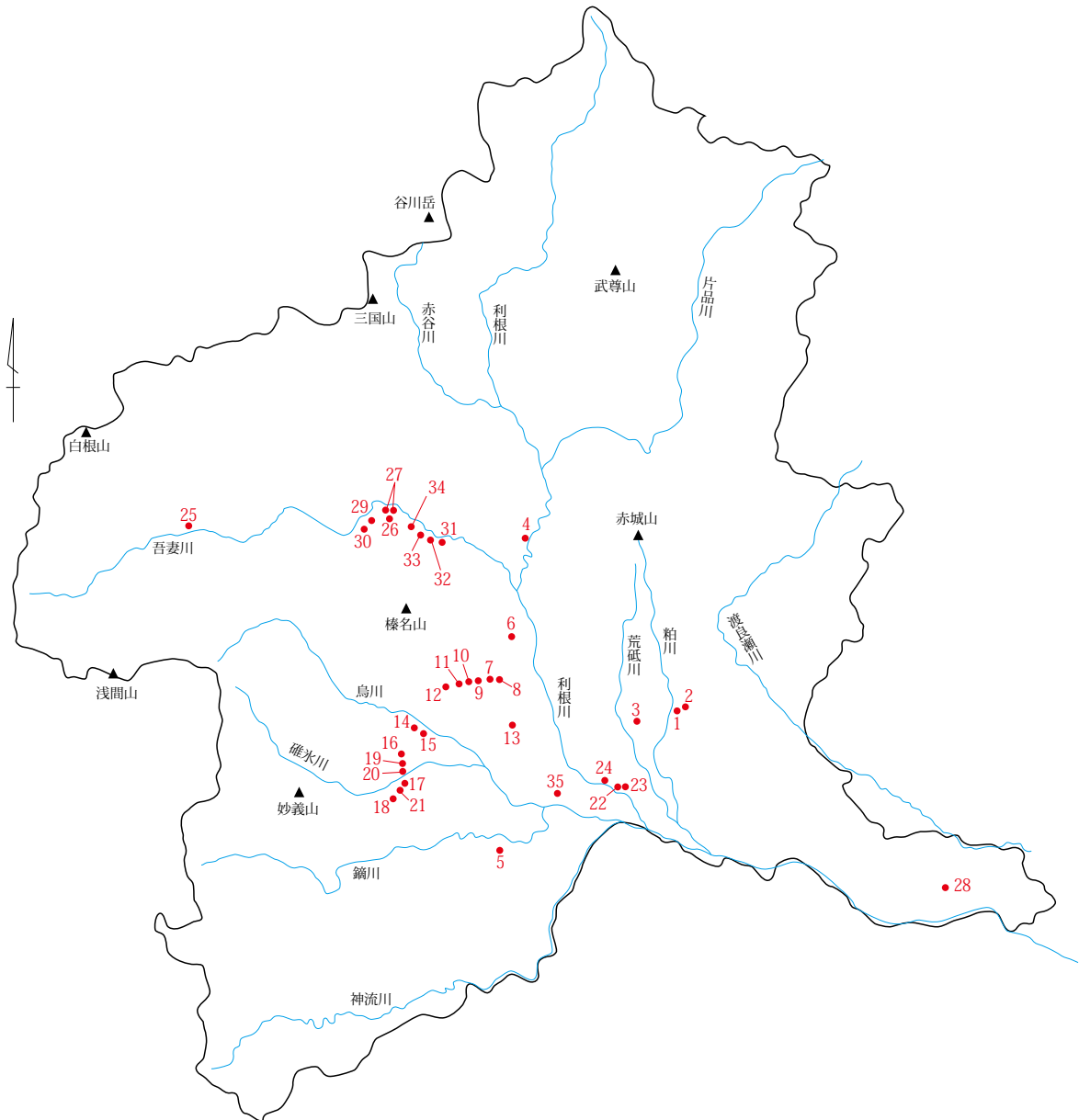
Ⅲ 研究活動概要

1 令和7年度職員自主研究活動指定研究

令和7年度の職員自主研究活動事業の指定は次のとおりである。

No.	氏 名	研 究 課 題
1	飯森康広	拠点をつなぐ城の研究
2	多賀谷蓮	縄文草創期土器の補修孔・容量の研究
3	飯塚 聡	古代東国における浄土信仰の展開
4	板垣泰之	元素分析から見る東毛地域を中心とする耳環の様相
5	松澤樹生	群馬県内における近代鉄生産の考古学的研究
6	洞口正史	縄文・弥生時代のクリ(果実・子葉)の大きさとその意味
4	関 邦一	縄文土器表面付着物の特定及び土器劣化過程への影響調査

IV 各遺跡の発掘調査概要



各遺跡の調査概要

令和7年度 調査遺跡位置図

- | | | |
|--------------|----------------|--------------|
| 1 社南遺跡 | 14 下里見中原遺跡・ | 25 小滝Ⅱ遺跡 |
| 2 荒子遺跡 | 下里見上ノ原遺跡 | 26 植栗山根A遺跡 |
| 3 前橋0950遺跡 | 15 下里見若林遺跡 | 27 植栗中原遺跡・ |
| 4 宇津野・有瀬遺跡 | 16 町北遺跡 | 小沢B遺跡 |
| 5 池五反田遺跡 | 17 一本木遺跡 | 28 館林城跡・城下町 |
| 6 穴薬師古墳 | 18 小萩山Ⅰ遺跡・小萩山Ⅱ | 29 金井水頭山B遺跡 |
| 7 三ツ寺鍛冶街道遺跡 | 遺跡・小萩山Ⅲ遺跡 | 30 玉科遺跡 |
| 8 棟高漆街道遺跡 | 19 上野尻遺跡 | 31 五町田上ノ山遺跡 |
| 9 保渡田押出遺跡 | 20 長竜遺跡 | 32 五町田十二ノ前遺跡 |
| 10 保渡田橋場遺跡 | 21 天在遺跡 | 33 柳沢B遺跡 |
| 11 保渡田屋敷廻り遺跡 | 22 西上之宮遺跡 | 34 月夜野A遺跡 |
| 12 上芝大杉遺跡 | 23 東上之宮遺跡 | 35 綿貫金堀遺跡 |
| 13 井野岡貝戸遺跡 | 24 上福島関根遺跡 | |

1 やしろみなみ 社南遺跡

所在地 伊勢崎市野町

担当者 石川真理子・岩崎泰一

遺跡の立地

本遺跡は大間々扇状地Ⅰ面(桐原面)に立地する。遺跡は平坦な台地上にあり、扇状地西には鎬木川が流れ低地部を形成している。

調査の概要

本調査は一般国道50号(前橋笠懸道路)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査で、1～3区を令和5・6年度に調査し、本年度は4区の調査を行った。調査面積は2,170.07㎡である。

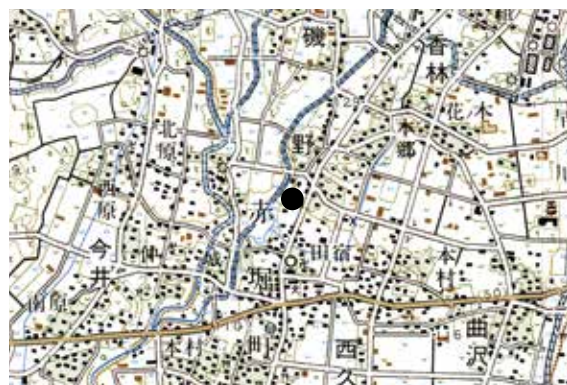
本年度は、第Ⅰ面(中・近世)、第Ⅱ面(古代)、第Ⅲ面(旧石器時代)を調査、近世屋敷跡、古代竪穴建物・溝、細石刃石器群などが確認されている。

旧石器時代 As-0k1～As-YPにかけて細石刃石器群が出土したほか、これよりやや下層において少量のナイフ形石器や搔器が出土した。細石刃石器群は調査区の南北に広がり、およそ5群程度に分布域がある。明瞭な細石刃核は出土していないが、少量の細石刃と大型剥片・こぶし大の礫石器類からなる石器群と見られる。

平安時代 9世紀代の竪穴建物5棟、溝2条が確認されている。溝2条は竪穴建物と重複関係にあるものと竪穴建物を避けるものがあり、集落を斜め縦断して東側の低地に抜けるものと見られる。後者の溝には818年の地震災害後発生した洪水堆積物が堆積していた。

中・近世 調査区中央付近に掘立柱建物2棟が確認されている。掘立柱建物は母屋と見られ、これに接するように竪穴状遺構(穴倉)がある。建物周辺には井戸や土坑があり、これらが溝に囲まれた状態で確認されている。街道脇に広がる近世前半期の屋敷の全貌を捉えることができた。このほか、南側調査区北に近世後半期のカマド1基がある。

(岩崎泰一)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「前橋」使用



細石刃石器群の検出状況(南から)



洪水で埋もれた古代水路の埋没状況(北から)



近世屋敷跡全景(北から)

2 ^{あらこ}荒子遺跡

所在地 伊勢崎市香林町

担当者 石川真理子・岩崎泰一

遺跡の立地

本遺跡は大間々扇状地Ⅰ面(桐原面)に立地する。扇状地は南に緩く傾斜しているが、本遺跡周辺ではほぼ平坦な台地形となっている。遺跡内には低地部があり、水田として利用されていた。

調査の概要

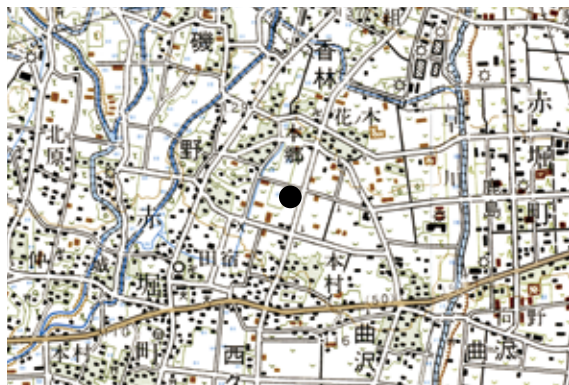
本調査は一般国道50号(前橋笠懸道路)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査で、本年度はⅠ区とⅣ区の調査を行い、調査面積は9,986.53㎡である。第Ⅰ面(中・近世)、第Ⅱ面(古代)、第Ⅲ面(古墳)、第Ⅳ面(縄文)、第Ⅴ面(旧石器時代)を調査した。古代掘立柱建物群や縄文時代竪穴建物・土坑、旧石器時代石器群などが確認されている。

旧石器時代 As-BPG下のローム層からチャート製剥片類を主体とした石器群が確認されている。石器群はⅠ区低地部に接した台地縁辺で確認されたほか、台地縁辺から離れたⅣ区で分布が確認されている。Ⅰ区石器群は石器ブロック1・礫群1があり、総計176点の石器石片類が出土した。

縄文時代 縄文時代前期後半の竪穴建物1棟が確認されたほか、その周辺で同時期の土坑数基が確認されている。竪穴建物は近世道路跡と重複して全貌は不明だが、想定外の発見であった。

古墳～平安時代 Ⅰ区西側の低地部に接して古代掘立柱建物4棟が確認されている。低地部には古墳時代に開発された水田、平安期洪水層に埋もれた水田が広がっていた。調査区内には圃場整備前の水路があり、水田が今日まで営々と引き継がれたことが明らかになった。

近世 Ⅳ区において近世道路跡1条が確認されている。道路遺構は路面3面があり、このうち最下面の路面は陶磁器や瓦、礫片等の細片を混ぜ込んで造られていたことが判明した。(岩崎泰一)



国土地理院5万分の1地形図「前橋」「桐生及足利」使用



チャート製石器群の検出状況(南から)



台地縁辺を流れる古代水路(北から)



近世道路跡全景(南から)

3 まえはし し ぜろきりごぜろ 前橋市0950遺跡

所在地 前橋市二之宮町

担当者 石川真理子・岩崎泰一

遺跡の立地

本遺跡は、赤城山南麓に広がる丘陵性台地上に立地する。遺跡西側には宮川による低地が、また東側には浅い浸食谷が入り込み、南北に長い低地と丘陵性の台地が交互に入り組む複雑な地形を呈している。標高は約88mである。遺跡北には国指定史跡である女堀(二之宮地区)がある。

調査の概要

本調査は一般国道50号(前橋笠懸道路)建設事業に伴う発掘調査で、調査面積は4,048.25㎡である。

調査区は国道の両側にあり、遺構確認面はローム面上面の1面のみである。

旧石器時代 トレンチを設定して旧石器確認調査を行った。北東部の調査区ではAs-BPG下で黒曜石製剥片類が出土したため、拡張して調査を行った。合計で67点の石器が出土した。

縄文時代 土器片は出土しているが、遺構は確認されなかった。

奈良・平安時代 竪穴建物5棟、土坑5基、ピット6基を調査した。現代の削平と攪乱を受けており、遺物の伴出が乏しかったが8・9世紀代が主体で、竪穴建物は東壁にカマドが造られていた。

中・近世 ピット12基、溝16条、井戸3基を調査した。幅と深さがともに3m程ある大型の溝は東西方向に掘られ、埋土上層にAs-B混土が堆積していた。その大型の溝より新しい井戸のうち1基は、3段以上の木枠が残っており、井戸の中から墓石や石臼などが出土した。

(石川真理子)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「前橋」使用



旧石器時代遺物出土状況(南から)



中世以降の大型の溝(南から)



井戸枠出土状況(南から)

4 宇津野・有瀬遺跡

所在地 渋川市上白井

担当者 松澤樹生・篠原正洋・須田正久

遺跡の立地

本遺跡は、利根川が形成する河岸段丘面である西伊熊面とそれを開析する空沢川の扇状地に立地し、標高は230～240mである。Hr-FPに埋没した積石塚群として古くから知られている。

調査の概要

本調査は、一般国道17号上白井地区歩道整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は3,150.78㎡である。

本年度は、1・2・3区の調査区を設定し、第1面(古代～中・近世)、第2面(古墳時代)、第3面(縄文時代～弥生時代)を調査した。

縄文時代 土坑2基とピット2基の調査と包含層調査を実施した。晩期と考えられる土器や石器が出土している。

弥生時代 遺構は確認できなかったが、中期と考えられる土器が出土した。

古墳時代 古墳2基と集石2基、畝状遺構2条、焼土1基、馬蹄痕4か所を調査した。いずれの遺構もHr-FPで埋没しており、残存状況はよい。古墳は礫を積み上げて構築されており、これまでの調査例と類似する。

奈良・平安時代 竪穴建物3棟を検出した。いずれもHr-FPを掘り込んで構築されていた。1号竪穴建物のカマドは残存状況が良好であり、天井石を確認することができた。また、カマド袖の芯材として礫が組まれていることが明らかになった。さらに、床面において鍛造剥片や金床石が確認できたことから、建物内で鍛冶を行っていた可能性が高い。

中・近世 土坑11基とピット53基、畑3区画を調査した。

(松澤樹生)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「沼田」使用



1・2号古墳全景(南西から)



1号古墳全景(東から)



1号竪穴建物全景(北から)

5 いけごたんだ 池五反田遺跡

所在地 高崎市吉井町池

担当者 松村和男・矢口裕之

遺跡の立地

本遺跡は鑄川右岸にある段丘面上に立地し、調査区は北から南へ微高地から低地に至る。周辺には多胡碑や多胡郡衙跡がある。

調査の概要

本調査は、高崎神流秩父線社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は7,808.64㎡である。

旧石器時代 遺跡が所在する河岸段丘は縄文時代初頭に離水しており旧石器は認められない。

縄文時代 中期の炉を伴う竪穴建物2棟や土坑・ピット群を検出した。微高地で縄文時代中期の遺物包含層、低地では浅い河道の谷を埋めた洪水堆積物から中期及び後期初頭の遺物包含層を検出した。

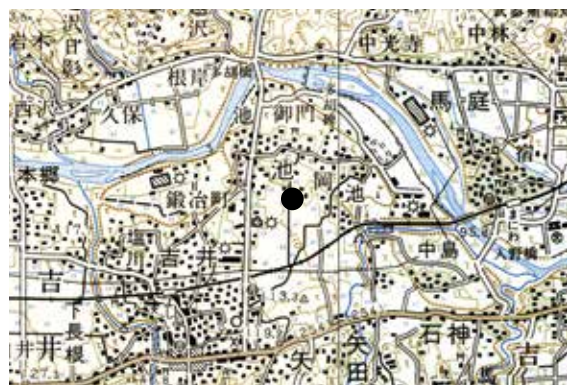
古墳時代・古代 微高地上に刻まれた谷頭の湧水点から1号自然流路を検出し、奈良～平安時代の遺物包含層下で古代の溝2条を検出した。

自然流路からは平安時代、10世紀代の集石が検出された。集石からは礫に混じって6～10世紀代の土師器や須恵器、灰釉陶器、墨書土器、古代の瓦、滑石の白玉、加工木材等が多数出土したことは特筆される。古代の人々が湧水を利用した痕跡は、遺構としては確認できなかったが、古代から連綿とした遺物の出土は湧水点への人の往来を示すと考えられる。

調査区南部の低地からは水田の畔の痕跡が検出された。水田は1108年にAs-Bで埋没した水田と考えられる。また東西方向の溝の底面からは須恵器の大甕片が出土し、溝は古墳時代から奈良時代に帰属すると思われる。溝南部の低地からは古墳時代の木製品や杭が出土した。

中・近世 自然流路の北で近世の石組の溝を検出し、中世の板碑や18世紀代の陶磁器、漆碗が出土した。

(矢口裕之)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「富岡」「高崎」使用



縄文時代の竪穴建物の石囲い炉



谷頭の湧水点付近の遺構群(西から)



集石から古代の瓦の出土状況

6 ^{あなやくし}穴薬師古墳

所在地 北群馬郡吉岡町大久保

担当者 松村和男

遺跡の立地

本遺跡は吉岡町の中心地にあり、町役場の南南東に位置する。遺跡は榛名山東南麓の相馬ヶ原扇状地に立地し、南東側に向けて傾斜する。南西側には南下古墳群が位置する。遺跡の標高は190m前後を測る。

調査の概要

本調査は、(主)前橋伊香保線社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は151.24㎡である。調査区は穴薬師古墳の西側から北側、そして進入路を挟んで東側に位置し、前橋伊香保線の北側に面している。

旧石器時代 確認調査をおこなったが、遺物は出土しなかった。基盤となる陣場岩屑なだれよりも上位で、As-YPの堆積層を確認した。

縄文時代 底面近くで横に拡がる袋状土坑1基を調査した。土坑とは別の地点で後期と考えられる土器片が出土した。袋状土坑は通例複数で存在し、周りには竪穴建物も立地することが多く、本遺跡の近くには縄文時代の集落が存在する可能性が考えられる。

古 代 埋没土にAs-Cを含む黒色土が入る土坑1基を調査した。土坑内から遺物は出土しなかった。古墳時代の遺構や遺物は確認できなかった。

中・近世 現代の区画を整備する以前の埋没土が入る土坑1基と溝2条を調査した。出土した遺物の多くは近世以降に属するが、溝の開削そのものは近世以前になる可能性も否定できない。

(松村和男)



国土地理院 5万の1 地形図「前橋」「榛名山」使用



中・近世溝確認状況(西から)



中・近世の溝(北から)



古代の土坑(北から)

7 ^{みつでらかじかいどう}三ツ寺鍛冶街道遺跡

所在地 高崎市三ツ寺町

担当者 新倉明彦・廣津英一

遺跡の立地

本遺跡は榛名山麓の南東麓に形成された相馬ヶ原扇状地上に立地し、標高は140mほどを測る。唐沢川と中島川の両河川に挟まれた緩やかな傾斜面である。

調査の概要

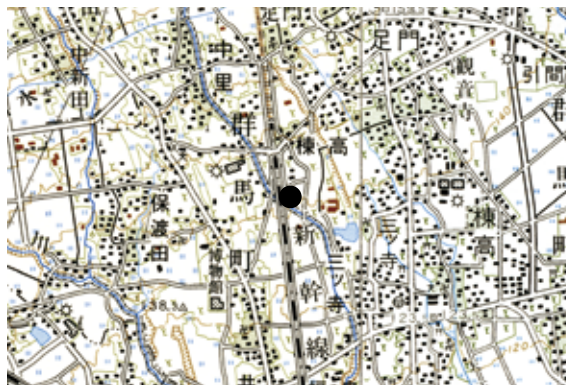
本調査は西毛広域幹線道路(高崎工区)建設事業に伴う発掘調査であり、過年度調査に続き、今年度は上越新幹線を挟んだ東側の2C・2D区と西側の3C・3D区の調査を実施した。2D区は、本線部南側に隣接する工事用道路の調査であり、本線部南端に接して調査された遺構の延長部を含めた集落跡が検出された。

奈良・平安時代 確認された遺構は、2C区において竖穴建物4棟、2D区においては竖穴建物28棟、竖穴状遺構1基、土坑30基、溝9条、井戸3基、ピット125基、採掘坑跡2か所である。時期は全て7～9世紀代に比定され、粘質土の採掘坑をはじめ、本遺跡の過年度調査区や近接する棟高漆街道遺跡と同じ様相を呈する。特筆される遺構として、2D区の竖穴建物の柱穴1基の上に、柱下に置かれた礎石と考えられる平坦面を有する自然礫が据えられた状態で検出され、礫下に埋め戻された柱穴跡が存在することから、根腐れで地中部を欠いた柱の補強を目的とした修復と考えられる。

上越新幹線を挟んで西側に位置する3C区の調査では、7～9世紀代の竖穴建物2棟と唐沢川旧河道の一部が検出され、併せて河道より引水した用水路も検出された。3D区においては、調査区すべてが唐沢川旧河道内にあり、遺構の検出はなかった。

近世 柱穴列1条、溝1条を検出した。

(新倉明彦)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「榛名山」使用



2 D 区全景 上部は北側本線部(上が北東)



3 C 区全景 唐沢川旧河道と用水路(南から)



2 D 区 竖穴建物礎石下柱穴検出状況(南から)

8 ^{むなだかうるしかいどう} 棟高漆街道遺跡

所在地 高崎市棟高町

担当者 新倉明彦・廣津英一

遺跡の立地

本遺跡は榛名山麓の南東麓に形成された相馬ヶ原扇状地上に立地し、標高は140m前後である。唐沢川と中島川の両河川に挟まれた緩やかな傾斜面である。

調査の概要

本調査は西毛広域幹線道路(高崎工区)建設事業に伴う発掘調査であり、1区・2区・3区合わせて、調査面積は1,193.26㎡である。

1区・2区・3区の南側を東西に走る道路を挟んで三ツ寺鍛冶街道遺跡がある。この遺跡は7世紀後半代から10世紀まで続く集落跡が検出されている。現在、字名で異なっているが、本来は本遺跡と合わせて一つの集落と考えられる。

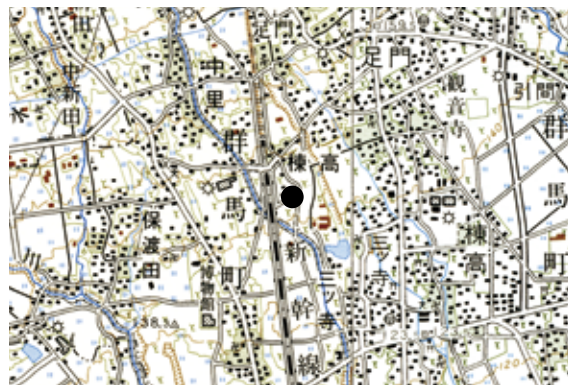
確認された遺構は、竪穴建物5棟、竪穴状遺構1基、掘立柱建物1棟、土坑38基、溝2条、ピット97基、採掘坑跡3か所である。

古墳時代 1区北部でHr-FAが残っていたが、この下層から遺構は検出されなかった。

飛鳥～平安時代 1区の南側と中央部で土坑群を検出した。直径1m位の不定形の土坑が連続し、壁面がえぐれた形状から土を採取したものと考えられる。採取したとみられる土は、粘土でなく粘性土である。北側で竪穴建物3棟と掘立柱建物1棟を検出した。Hr-FAの上から掘られ、上部にはAs-B軽石の堆積層がある。出土遺物から8・9世紀代と考えられる。2区でもAs-B下位で、竪穴建物2棟が検出されている。

中・近世 1区で溝2条、土坑、ピットを検出した。2区・3区ともにピットを検出している。いずれもAs-B混土で埋没していた。

(廣津英一)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「榛名山」「前橋」使用



1 区調査区全景(上が東)



採掘坑跡(南から)



8 世紀の竪穴建物(西から)

9 ほ じ た お し だ し 保渡田押出遺跡

所在地 高崎市保渡田町

担当者 塩谷貴彦・新倉明彦・廣津英一・新井仁

遺跡の立地

本遺跡は、榛名山の東南麓に展開する相馬ヶ原扇状地の扇端部付近に立地する。東端を唐沢川、西端を小河川で画された南向き緩斜面で小規模な埋没谷が樹枝状に残されている。標高は140m前後である。

調査の概要

本調査は、西毛広域幹線道路(高崎工区)建設に伴う発掘調査であり、調査第4年次にあたる。今年度は、4区、6区の東半分、7区の継続部分、8区が調査対象地で、調査面積は、3,631.41㎡である。

確認された遺構は、竪穴建物30棟、掘立柱建物11棟、土坑156基、ピット1,155基、溝32条、埋没谷2か所である。年代は、古墳時代後期から中近世までで、飛鳥時代から平安時代までは継続的な集落の様相がうかがえる。保渡田押出遺跡と保渡田橋場遺跡の名称は字界により異なるが、一連の遺跡である。

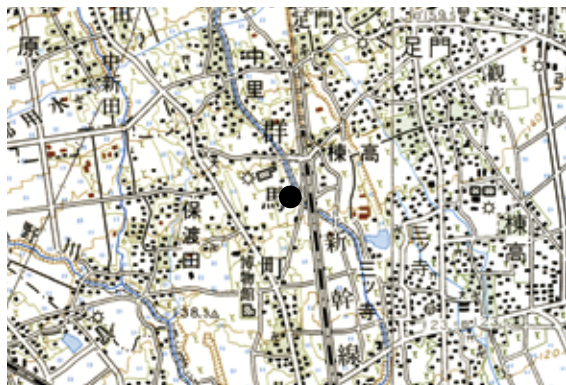
古墳時代 7区では、6世紀初頭のHr-FA下面から畑を検出した。6A区では、保渡田橋場遺跡2区の埋没谷につながる谷頭を検出している。

飛鳥～平安時代 主に7世紀後半～10世紀末の竪穴建物30棟、土坑8基、溝5条、埋没谷1か所が確認された。8区の埋没谷は、出土遺物より7世紀代から始まると思われ、遺跡の西側をほぼ南北方向に延びていた。幅は調査区外になり正確にはわからないが、深さは北側では約2m、南側では約1mと浅くなり、調査区外へ延びる。

中世 8区のピットは1,000基を超え、土坑140基、中には入口を持つ地下式土坑を検出した。掘立柱建物は8棟確認している。中世の集落と考えられる。

近世 8区では土橋を伴う方形区画の貯水池と思われる遺構を検出した。As-Aが埋土中に堆積していた。

(廣津英一)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「前橋」「榛名山」使用



8 区調査区全景(上が西)



6 A 区谷頭(西から)



中世地下式土坑(南から)

10 保渡田橋場遺跡

所在地 高崎市保渡田町

担当者 新倉明彦・廣津英一

遺跡の立地

本遺跡は榛名山麓の南東麓に形成された相馬ヶ原扇状地の先端部に立地し、標高は139～140m前後である。東側を唐沢川が流れ、西端を小河川で区画された南向きの斜面であり、埋没谷が樹枝状に残されている。

調査の概要

本調査は、西毛広域幹線道路(高崎工区)建設に伴う発掘調査である。調査面積は、2,974.32㎡である。

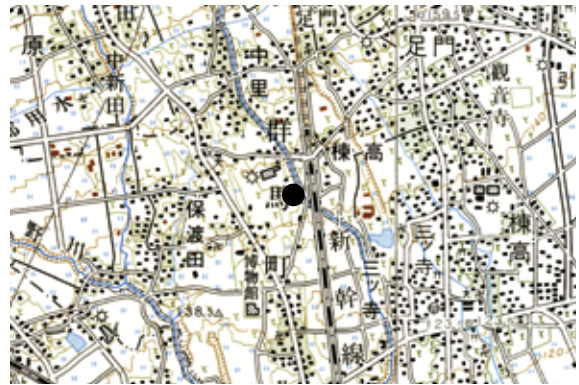
確認された遺構は、竪穴建物19棟、掘立柱建物3棟、土坑24基、ピット134基、溝17条、埋没谷1か所、埋没谷の両岸の湧水点2か所である。年代は、古墳時代から中・近世までで、飛鳥～平安時代までは継続的な集落の様相がうかがえる。保渡田押出遺跡と保渡田橋場遺跡の名称は字界により異なるが、隣接する保渡田裸薬師遺跡を含めた一連の遺跡である。

古墳時代 1区では北から南へ向かう幅約20m、深さ約3～4mの埋没谷が検出された。下面より、As-C軽石層、Hr-FA層、As-B軽石層と堆積していることから、この埋没谷は古墳時代前期から存在していたことがうかがわれる。道路を挟んで北側にある保渡田押出遺跡6A区ではこの谷の始まりと考えられる谷頭が検出されている。

飛鳥～平安時代 主に7世紀後半～10世紀末の竪穴建物19棟、土坑24基、溝17条が確認された。埋没谷では、東の肩部側と西の肩部側に湧水点があり、それに伴う木枠や石囲い、溝を検出した。また、杭列を3か所検出している。谷の西側2区では、竪穴建物16棟と畑1面を検出している。

近世 溝2条が検出された。うち1条は、北側の道路を挟み、保渡田押出遺跡6A区に繋がるものと考えられる。

(廣津英一)



国土地理院 5万分の1 地形図「前橋」「榛名山」使用



1区埋没谷全景(南から)



2号湧水点(上が南)



2区全景(上が南)

11 保渡田屋敷廻り遺跡

所在地 高崎市保渡田町

担当者 松澤樹生・篠原正洋

遺跡の立地

本遺跡は、相馬ヶ原扇状地上に立地し、標高140m前後を測る。東に東谷川、西に大清水川と井野川が流れ、遺跡の500mほど下流で合流することによって独立丘状を呈する。また、保渡田城の推定範囲内である。

調査の概要

本調査は、西毛広域幹線道路(高崎工区)社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は2,957.80㎡である。

本年度は、1・3区の表土直下(一部As-B直下)で第1面(古墳時代～中・近世)を調査した。

縄文時代 遺構は確認できなかったが、前期の土器が出土している。

古墳時代 竪穴建物1棟を調査した。焼失家屋であり、屋根材と考えられる炭化材が出土している。その他に遺構には伴わないが、円筒埴輪が出土している。

奈良・平安時代 土坑1基を調査した。土坑内は砂礫で満たされており、その中から遺物がまとまって出土した。

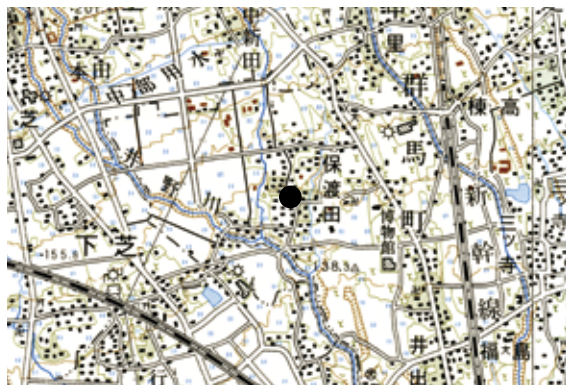
中・近世 堀5条、溝6条、掘立柱建物1棟、井戸8基、礎石建物1棟、土坑60基以上、ピット230基以上、列石1条、遺物集中1か所を調査した。

堀は東西方向に2条、南北方向に3条あり、1区中央付近で交差・重複していた。

2号堀は堀として使用された後、道として使用されていることがわかった。3号堀からはかわらけが13枚重なった状態で出土した。他には内耳鍋やすり鉢、板碑、石臼などが出土している。

堀は保渡田城との関係が想定される。

(松澤樹生)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「前橋」「榛名山」使用



1 区全景(上が北)



1 区遠景(東から)



3 号堀かわらけ出土状況(上が北)

12 ^{かみしばおおすぎ}上芝大杉遺跡

所在地 高崎市箕郷町上芝

担当者 新倉明彦・廣津英一

遺跡の立地

本遺跡は榛名山南東麓、井野川右岸の扇状地の緩斜面上に立地している。遺跡の標高は約150m前後である。

調査の概要

本調査は、西毛広域幹線道路(高崎工区)社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は2,373.42㎡である。

遺構確認面は4面あり、第1面はAs-B下面(平安時代)、第2面は2～3mに及ぶHr-FPに伴う泥流下面(古墳時代後期)、第3面はHr-FAに伴う泥流下面(古墳時代後期)、第4面はAs-CまたはAs-Cを含む黒色土下面(古墳時代前期以前)である。第4面以降の調査は、来年度に継続される。

縄文時代 遺物が数点出土した。

弥生時代 As-C下面の第4面では、竪穴建物4棟を確認した。

古墳時代 西側の台地側でHr-FAで埋没した畑を検出した。畝幅は約1m、長さは約14～15m、数は17条であった。畝の走向は地形に合わせて「くの字状」になっていた。

また、調査区のほぼ全面でHr-FA泥流下の水田を検出した。水田は緩斜面に造られた小区画水田であった。

平安時代 As-B下面で溝2条を検出した。いずれもAs-Bを埋土とするものであるが、出土遺物はなく、性格は不明である。東に広がる埋没谷は、As-B軽石層が10～20cmの厚さで堆積していた。

中・近世 埋没谷の西側で土壇墓11基、溝1条、ピット6基を検出した。土壇墓からは、中国銭や五輪塔の火輪・水輪、カワラケなどが多数出土している。埋没谷からも五輪塔が出土している。

(廣津英一)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「榛名山」使用



Hr-FA下畑全景(北から)



Hr-FP泥流水田全景(南から)



中世土壇墓(西から)

13 ^{い の おかがいと}井野岡貝戸遺跡

所在地 高崎市井野町

担当者 須田正久

遺跡の立地

本遺跡は榛名山麓より流れ出る最大の河川である井野川の左岸、小河川によって開析された緩やかな台地上に立地する。標高は約96mである。

調査の概要

本調査は、一般県道井野停車場線社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査対象面積は153.29㎡である。

遺跡は、上面が後世の削平の影響で30～40cmほどでローム面となる。このため調査は1面のみで、弥生時代～古代までの発掘調査を行った。

旧石器時代 旧石器確認調査を行ったが、ローム下層は洪水を起因とする砂層や灰白色シルト層が堆積しており、旧石器時代の文化層は確認できなかった。

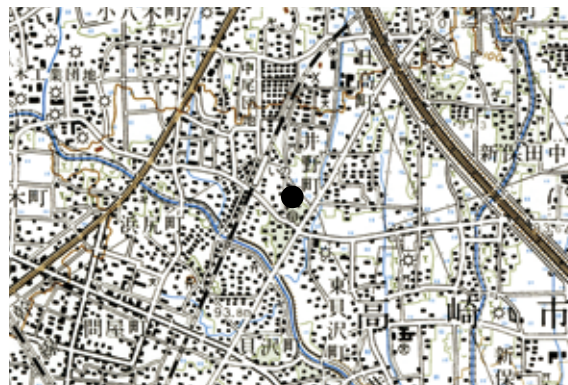
弥生時代 竪穴建物1棟を確認した。調査範囲が狭いため全容は不明だが、後期の土器などが出土している。また、炭化材が多く出土していることから焼失したと考えられる。

古墳～奈良・平安時代 竪穴建物1棟、土坑6基を確認した。竪穴建物はカマドは確認できなかったが、床面と考えられる硬化面上から土師器などが数多く出土している。

奈良・平安時代 竪穴建物1棟、竪穴状遺構1棟、土坑17基、ピット3基を確認した。竪穴建物は北西側にカマドが造られている。出土遺物から9世紀代のものと考えられる。

中・近世 陶磁器数点が出土したが、遺構は確認できなかった。

(須田正久)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「前橋」使用



調査区全景(北西から)



弥生時代の焼失した竪穴建物(南西から)



平安時代の竪穴建物(西から)

14 ^{しもさと み なかはら} 下里見中原遺跡

・ ^{しもさと み うえ の はら} 下里見上ノ原遺跡

所在地 高崎市下里見町

担当者 齋藤 聡・野口智子

遺跡の立地

本遺跡は、榛名山の南麓を南東に流れる烏川右岸の河岸段丘中位段丘面(里見台地)に立地し、標高は178m前後である。本遺跡の周辺には里見古墳群や戦国時代の里見城址がある。

調査の概要

本調査は、下里見安中線西毛広域幹線道路社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は下里見中原遺跡1,880.00㎡、下里見上ノ原遺跡6,883.48㎡である。

本年度は、下里見上ノ原遺跡1区の旧石器確認調査と、下里見上ノ原遺跡2～5区の調査を行った。

旧石器時代 下里見中原遺跡では4か所、下里見上ノ原遺跡では2区に2か所、3区に1か所トレンチを設定して確認調査を行ったが、遺構や遺物の検出はなかった。

縄文時代 前期の竪穴建物4棟、中期の竪穴建物11棟を調査した。埋甕炉や石囲炉が良好に残存するものもあった。

弥生時代 中期の竪穴建物5棟と後期の礫床木棺墓20基を調査した。礫床木棺墓は礫の積み方や敷き方でいくつかの種類に分けられ、墓の周囲を溝で区画するものもあった。複数の墓から鉄剣や鉄釧、銅釧、ガラス小玉、管玉などが出土している。

古墳時代～奈良・平安時代 竪穴建物90棟、掘立柱建物6棟、溝3条、土坑104基、ピット704基などを調査した。カマドの煙道に利用した甕が良好な状態で残存する事例が多くみられた。床下に深い粘土採掘坑が掘られているのも特徴的である。

中・近世 土坑22基、ピット14基などを検出した。これらの遺構内からは、陶磁器片のほかに寛永通宝などが出土した。

(野口智子)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「中之条」使用



遺跡遠景(南から)



縄文時代の竪穴建物(北から)



弥生時代の礫床木棺墓(東から)

15 しもさと み わかばやし 下里見若林遺跡

所在地 高崎市下里見町

担当者 田村 真・須田正久

遺跡の立地

本遺跡は、榛名山の南麓を東南流する烏川右岸の河岸段丘の斜面上に立地する。標高は200～210mである。谷を挟んで本遺跡の東側には下里見上ノ原遺跡がある。

調査の概要

本調査は、下里見安中線西毛広域幹線道路社会資本総合整備事業に伴う発掘調査である。調査面積は2,112.68㎡である。調査は火山灰等の堆積物を基準とし、黒色土上面(古墳時代～中・近世)、ローム上面(縄文～弥生時代)の2面で調査を行った。

旧石器時代 2m×4mのトレンチを6か所設定し、旧石器確認調査を行った。本遺跡では暗色帯まで4m以上の深度が必要であるため、調査は2m下のAs-BPG上面までの調査をして終了した。

縄文時代 包含層から前期及び中期の土器片が出土したが、遺構は確認できなかった。

弥生時代 竪穴建物4棟、竪穴状遺構1棟、遺物集中1か所、ピット12基を確認した。竪穴建物や遺物集中からは後期の遺物が出土した。調査区中央部から東部にかけて、黒色土中から数多くの土器片や石器が出土した。

古墳時代 竪穴建物2棟、ピット37基を確認した。竪穴建物のうち1棟は、カマドが北側に造られており、勾玉などの特殊な遺物も出土している。炭化材が多く出土していることから焼失したと考えられる。

奈良・平安時代 As-Bの一次堆積で埋没したピット3基を確認した。

中・近世 土坑9基を確認した。これらの遺構はAs-Kkが混入することから中・近世の遺構と判断した。

(須田正久)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「榛名山」使用



遺跡遠景(西から)



弥生時代の竪穴建物遺物出土状況(西から)



古墳時代の竪穴建物遺物・炭化材出土状況(北から)

16 ^{まちきた}町北遺跡

所在地 安中市安中

担当者 青木亮子・木村 収

遺跡の立地

本遺跡は、碓氷川及び九十九川が東流して形成された河岸段丘の中位段丘面である原市・安中台地上に立地する。標高は171m前後である。

調査の概要

本調査は、(都)3.6.10号南北中央幹線(他1路線)無電柱化推進計画事業に伴う発掘調査で、調査面積は63.92㎡である。

本年度は、昨年度の調査区に隣接する5区を調査した。遺跡は北側に緩やかに傾斜し、傾斜に合わせた切土により、段が造成されている。昨年度及び一昨年度は、5区の南東約90mで推定東山道駅路が検出されている。また、5区の東方約200mの旧安中高校跡地では、東山道駅路とともに古代の公的建物群が調査されている。

旧石器時代 調査区が狹隘のため、旧石器確認調査はできなかった。

縄文～奈良・平安時代 遺構は確認されなかったが、古代の土師器片及び須恵器片が出土した。

中・近世 表土の下には、As-A混土層が堆積しており、As-A混土層を除去すると遺構確認面(ローム漸移層)であった。遺構覆土にAs-Aが含まれていることから、検出された遺構年代は天明3年(1783)以降とみられる。遺構確認面の上下で検出された遺構は、井戸1基、土坑3基、ピット16基であった。遺構内からの出土遺物は少ない。ピットから中世の内耳鍋の破片が出土したが、遺構に伴うものではなかった。ピットは掘立柱建物の一部である可能性が高いが、調査面積が限られているために建物の詳細は不明である。

(木村 収)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「富岡」「榛名山」使用



上空から見た町北遺跡 5 区(南から)



江戸時代の柱穴調査(南から)



井戸の断面(西から)

17 ^{いっぽんぎ} 一本木遺跡

所在地 安中市安中

担当者 青木亮子・木村 収

遺跡の立地

本遺跡は、碓氷川が東流して形成された、河岸段丘の下位段丘面に立地し、標高は約157mである。下位段丘面には、碓氷川の支流柳瀬川が東方へ流れる。本遺跡は柳瀬川左岸にあたる。

調査の概要

本調査は、安中富岡線(西毛広域幹線道路安中富岡工区)社会資本総合整備(活力・重点)事業に伴う発掘調査で、調査面積は1083.55㎡である。

本遺跡は平成4年度に1か月、平成5年度に4か月、平成6年度に6か月の調査を行っている。本年度は、1か月間12区の調査を実施した。

旧石器時代 遺構確認面もしくは下位の土層が碓氷川に由来する砂礫層であるため、旧石器確認調査は実施しなかった。

古墳時代 中期の竪穴建物3棟とピット6基を調査した。13号竪穴建物は、北西方向に主軸を持ち、一辺約5mの正方形プランを呈している。中央から北西寄りの位置に地床炉を設けていた。床面直上を主体として壁際を中心に多くの炭化材が検出され、焼失したとみられる。20点の炭化材の樹種同定を行ったところ、落葉広葉樹の比率が高く、丘陵や台地上よりも河畔等の沖積地に生える種類が多いという傾向にあった。碓氷川右岸の下位段丘面は、これまで水田や畑などの生産域として土地利用が行われていたと考えられていた。しかし、昨年度及び今年度の調査において古墳時代前・中期の竪穴建物14棟が見つかったことから、古墳時代にはムラが営まれていたことが明らかとなった。下位段丘面には微地形があり、今回検出された竪穴建物の地形も、元々微高地であったと推測される。

(青木亮子)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「富岡」使用



一本木遺跡全景(上が西)



13号竪穴建物(上が北西)



古墳時代のピット列(南から)

18 小萩山 I・II・III 遺跡

所在地 安中市大竹

担当者 塩谷貴彦・青木亮子・木村 収・新井 仁

遺跡の立地

本遺跡は、碓氷川右岸の上位段丘面である横野台地上に立地する。この横野台地東部を猫沢川、天神川が開析し、南西―北東方向に伸びる細長い台地を形成している。遺跡はこの台地の西側縁辺部、北西方向に猫沢川の谷地を望む場所に立地する。標高は約194～204mである。

調査の概要

本調査は、安中富岡線(西毛広域幹線道路安中富岡工区)社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は9,061.28㎡である。

本年度は、小萩山 I・II・III 遺跡 1～4 区の調査を実施した。

旧石器時代 トレンチを設定して旧石器確認調査を実施したが、遺構・遺物は確認されなかった。

縄文時代 1区北側から3区中央部にかけて、竪穴建物6棟と土坑44基が検出された。さらに遺構内や遺物包含層から前期を中心とした土器や石皿などの石器が出土した。

弥生時代 竪穴建物9棟と方形周溝墓1基、土坑1基を調査した。後期の5号竪穴建物は手前に出入口用の支柱穴2本、なかに長方形配置の支柱穴4本、奥に礫を置いたものも含め2基の炉と棟持ち柱の柱穴を確認することができた。

古墳時代 方形周溝墓5基、土坑5基を調査した。前期の5号方形周溝墓においては、重複して銅製耳環一対が伴う後期の土坑墓が確認された。

古代～近世 古代は溝3条、土坑5基を調査した。中世は溝4条、土坑1基を調査した。近世は溝6条とAs-Aの復旧坑1群、畑1区画、ピット2基を調査した。

(青木亮子)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「富岡」使用



2 区全景(上が南西)



5 号竪穴建物(南東から)



5 号方形周溝墓(上が北西)

19 かみのじり 上野尻遺跡

所在地 安中市安中

担当者 青木亮子・木村 収

遺跡の立地

本遺跡は、碓氷川及び九十九川が東流することで形成された、河岸段丘の中位段丘面である原市・安中台地上に立地し、標高は173m前後である。

調査の概要

本調査は、(一)安中富岡線(西毛広域幹線道路 安中富岡工区)社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は1,123.88㎡である。

今年度は旧中山道の南側を2・3区として調査した。

旧石器時代 2m×4mのトレンチを7か所設定して、旧石器確認調査を行ったが遺物は出土しなかった。

奈良・平安時代 7～8世紀を中心として、竪穴状遺構の可能性も含めて7棟の竪穴建物を調査した。カマドを有する竪穴建物は1棟のみであったが、7世紀末～8世紀初頭の遺物がまとまって出土した。他に、土坑7基と溝1条、ピット1基を調査した。

中・近世 中世では、竪穴状遺構1基、土坑2基、溝1条、井戸1基、ピット88基を調査した。竪穴状遺構と溝は繋がっており、14世紀後半～15世紀前半の遺物が出土している。溝は本遺跡と隣接する長竜遺跡とを画する現道下にかけて検出され、走行や断面形状から約75m南側で昨年度検出された薬研堀と対になると思われる。近世では、土坑49基、掘立柱建物1棟、井戸2基、ピット50基、As-A復旧坑群2か所を調査した。掘立柱建物は、長辺が約1.7mの区画を浅く掘り窪め、区画に沿って10本の柱を配していた。用途が明らかな土坑として、安中宿の屋敷内に設置されたと思われる穴倉3基と粘土採掘坑1基を調査した。

(木村 収)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「富岡」使用



2区全景(上が東)



飛鳥時代の竪穴建物(西から)



江戸時代の穴倉調査(南から)

20 長竜遺跡

所在地 安中市安中

担当者 青木亮子・木村 収

遺跡の立地

本遺跡は、碓氷川及び九十九川が東流することで形成された、河岸段丘の中位段丘面である原市・安中台地上に立地し、標高は170m前後である。

調査の概要

本調査は、(一)安中富岡線(西毛広域幹線道路 安中富岡工区)社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は1,027.56㎡である。

今年度は上野尻遺跡の南側を調査した。

旧石器時代 2 m×4 mのトレンチを5か所設定して、旧石器確認調査を行ったが遺物は出土しなかった。

奈良・平安時代 7～8世紀を中心として、竪穴状遺構の可能性も含めて8棟の竪穴建物を調査した。竪穴建物の一部はいずれも東側調査区外にあり、カマドの有無は不明である。他に土坑12基、井戸1基を調査した。土坑の中で、トンネル状の遺構が検出された。残存長約7 m、最大幅約2 mで、形状や堆積状況などから、トンネルの掘削途中で天井が崩落し操業を断念した炭窯の可能性が高い。

中・近世 中世では、掘立柱建物12棟、土坑36基、ピット522基、井戸7基を調査した。遺物では、14世紀の龍泉窯系青磁皿の破片が出土した。昨年度の調査区で東西方向の薬研堀が検出されたが、今年度はこの薬研堀から北に約75m離れた上野尻遺跡で同様の堀が検出されている。中世の遺構は、2つの堀に囲まれた部分に存在した館に由来する可能性が高い。近世では、土坑16基、ピット1基、溝5条を調査した。覆土中に大量のAs-Aを含む溝が検出されたが、復旧坑ではなく、粘土あるいは土砂採掘坑の可能性があり、採掘後に軽石を廃棄したと考えられる。

(木村 収)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「富岡」使用



上空から見た長竜遺跡(南から)



7 世紀のトンネル状遺構(南から)



中世の掘立柱建物(上が東)

21 ^{てんざい}天在遺跡

所在地 安中市大竹

担当者 青木亮子・木村 収

本遺跡は、碓氷川が東流して形成された、河岸段丘の下位段丘面に立地する。標高は約161mである。下位段丘面には、碓氷川の支流である猫沢川が東流する。本遺跡は猫沢川右岸にあたる。

調査の概要

本調査は、安中富岡線(西毛広域幹線道路 安中富岡工区)社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は2,807.59㎡である。

本年度は、1区の調査を実施した。

旧石器時代 トレンチを設定して旧石器確認調査を実施したが、遺構・遺物は確認されなかった。

弥生・古墳時代 As-Bに被覆された水田の耕土にAs-Cが含まれていたため、As-C混土を除去し、古墳時代以前の遺構の確認調査を行った。古墳時代の水田は確認されなかったが、弥生時代後期の溝が複数検出された。

奈良・平安時代 As-B一次堆積によって被覆された水田を1か所調査した。As-Bは約10cm堆積し、9つのユニットから構成されている。確認水田面では、複数の畦畔や水口とともに、多数の足跡が見つかった。1区北側と南側からは、ほぼ正確に東西或いは南北の方向に畦畔が確認でき、条里制水田の痕跡とみられる。東西方向の畦畔は長く、南北方向の畦畔は短い。これは水田の給水効率を考えたもので、本遺跡が南北に緩く傾斜する地形であることに関わっていると思われる。

中・近世 中世の遺構では、溝5条を調査した。14世紀頃の青磁碗の破片が出土した溝が1条あった。また、土坑3基、ピット4基も調査した。

(青木亮子)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「富岡」使用



1 区全景(上が南東)



基本土層(西から)



青磁が出土した中世の溝(東から)

22 ^{にしかみのみや}西上之宮遺跡

所在地 伊勢崎市西上之宮町

担当者 宮下 寛・唐沢友之・田村 真・塩谷貴彦・石川真理子・岩崎泰一・新井 仁・須田正久

遺跡の立地

本遺跡は、利根川左岸に所在する。利根川に近接し、藤川との合流点西側に立地する。標高は約66mである。

調査の概要

本調査は、利根川河川改修事業に伴う埋蔵文化財発掘調査であり、令和2年度から発掘調査を継続している。調査面積は、13,569.75㎡である。

本年度は天明泥流直下面、As-B混土上面、As-B下面、Hr-FA下面、古墳時代の泥流堆積層やAs-C混土の上面等を鍵層とし、1区継続部分と4区の調査を実施した。

縄文時代 1区北西部の遺物包含層から土器や草創期の有舌尖頭器などの石器が出土した。

古墳時代 1区では、古墳、竪穴建物、土坑、ピット、溝、畑等を調査した。6号墳の墳丘では円形に掘られた溝、9号墳の周堀、7号墳の石室解体等の調査を実施した。古墳墳丘下で重複する竪穴建物は20棟あり、焼失住居や地震による地割れや噴砂の痕跡なども検出した。4区では、泥流堆積層やAs-C混土上面で竪穴建物、土坑、溝等を調査し、Hr-FAで埋没した水田を検出した。

奈良・平安時代 竪穴建物、溝、土坑、ピット、水田、道を調査した。1区では2棟の竪穴建物を調査した。4区西側では、重複する竪穴建物が多数みつき、中央部の竪穴建物の下層に古墳時代の水田があることから、平安時代には居住域を拡張していたことがわかった。As-B下面の水田に伴う溝、畦畔や水口が残存し、水田面からは、ヒトの足跡、ウマやウシの足跡を検出した。

中・近世 4区では掘立柱建物、土坑・ピット・溝・畑等を調査した。4区中央部では南北に走行する複数条の溝、南西部からピット群や畑、北西部から掘立柱建物1棟を検出した。利根川護岸部分の調査では洪水砂で埋没した溝を検出した。As-A下面では道1条を検出した。1区では地下式坑や火葬跡を検出した。（宮下 寛）



国土地理院 5 万分の 1 地形図「高崎」使用



1 区古墳・竪穴建物など調査状況(上が南)



4 区Hr-FA下水田調査状況(上が南)



4 区As-B下水田調査状況(北から)

23 ^{ひがしかみのみや} 東上之宮遺跡

所在地 伊勢崎市東上之宮町

担当者 宮下 寛・唐沢友之・田村 真・須田正久

遺跡の立地

本遺跡は前橋台地の東南部に立地し、利根川と藤川の合流点付近に所在する。遺跡は藤川から宮川まで750mに及ぶ。標高は63m前後である。

調査の概要

本調査は、一級河川利根川(伊勢崎・玉村工区)河川改修事業に伴う発掘調査で、調査面積は7,013.19㎡である。

本年度は、第Ⅰ面As-A下(江戸時代)、第Ⅱ面As-B上(平安時代)、第Ⅲ面As-B下(平安時代)、第Ⅳ面Hr-FA上(古墳時代)・第Ⅴ面Hr-FA下(古墳時代)を調査し、中・近世の畑、古代の水田・溝、古墳時代の溝を確認した。

古墳時代 溝11条と土坑1基を確認した。611・612・614号溝からは底面で土器片が見つかり、4世紀末～5世紀代であることが確認された。また、この3条の溝は612号溝により611号溝と614号溝が繋がれている様子が見られた。612号溝の北側には止水用に使用されたであろう板状の木材が確認された。614号溝からは建築材や耕作具と思われる木材が多数見つかった。

奈良・平安時代 水田と溝6条、土坑1基を確認した。水田は1,502.46㎡あり、大小約20区画を確認した。畔の残りがあまり良くないが、水口まで確認できた畔もあった。溝のほとんどは水田の東側にあり、水口は確認できなかったが、水田に関連した施設の可能性がある。土坑はそのうちの溝1条に重なり、溝よりも新しい。

中・近世 畑を確認した。畑の畝に一定の間隔で真直ぐ並ぶ窪みがあり、足跡と思われるのだが輪郭がはっきりしていないため不明である。

(田村 真)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「高崎」使用



古墳時代の611号・612号・614号溝(北から)



平安時代の水田(北から)



江戸時代の畑(南から)

24 かみふくしませき ね 上福島関根遺跡

所在地 佐波郡玉村町上福島

担当者 須田正久・矢口裕之

遺跡の立地

本遺跡は利根川左岸の氾濫原に立地し、調査区は西から東へ微高地の墓域から畑域に至る。

調査の概要

本調査は、一級河川利根川(伊勢崎・玉村工区)河川改修事業に伴う発掘調査で、調査面積は868.73㎡である。

近 世 江戸時代の天明3年(1783)に利根川を流下した天明泥流堆積物及び降下したAs-Aの下面や下位の洪水堆積物下面から畑10区画、道2条、土手2条、溝2条、土坑や墓25基を検出した。

天明3年に埋没した畑は西北―東南に主軸を有する区画内に並行ないし直交する畝からなり、溝や道で区画されている。畝間はAs-Aの軽石が埋めており、新暦8月4日午後から5日未明の天明噴火で埋没し、同日13時頃に天明泥流で畑全体が覆われたと考えられる。

天明泥流下で検出された土坑や墓は、墓石の台座が残されたものや石が組まれたもの、土坑のみが検出されたものなどが見られる。下部に人骨を出土する例もあるが、人骨が失われているものも多い。

天明泥流堆積物下では3層の利根川起源の洪水堆積物が検出された。直下の洪水は江戸時代の寛保2年(1742)、中層は近世初頭、最下層は中世の利根川変流の際の洪水に比定される。上層と中層下面では墓が検出された。

中層下面から検出された9号墓は10基の長方形礫を配した墓域で、下位から火葬骨片がまとまって出土した。骨片の周囲からカワラケで蓋をした完形の瀬戸・美濃陶器の鉄絵香炉が正位で出土し、内部から歯が出土したことは特筆される。

(矢口裕之)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「高崎」使用



天明泥流下の畑(東から)



9号墓出土のカワラケ



9号墓の香炉の出土状況

25 ^{こたきに}小滝Ⅱ遺跡

所在地 吾妻郡長野原町羽根尾

担当者 篠原正洋

遺跡の立地

本遺跡は吾妻川左岸に形成された河岸段丘上に立地し、標高は660m前後である。北東約600mには戦国時代の山城である羽尾城がある。本遺跡を含む羽根尾地区(旧羽尾村)の大部分は天明泥流に覆われており、この泥流堆積物の下には当時の江戸と信州を結ぶ街道(中山道の脇往還で信州街道や草津みちとも呼称される)や宿場町(羽尾宿)が埋没しているものと考えられる。

調査の概要

本調査は、国道146号社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は345.22㎡である。表土を含む天明泥流堆積物の厚さは1.5～2.8mを測り、泥流の下にAs-A軽石の一次堆積層が僅かに確認できた。遺構確認面は、第1面(近世＝天明泥流下)を設定した。

近世 天明泥流下から畑1区画、円形平坦面1基を確認した。南北方向に細長く狭い調査区であったが、畑は比較的良好な状態で見つかった。畝サクは東西方向に整然と並び、畝の方向や畝幅等に差異が現れる畑境も確認できなかったため、畑全体を1号畑とした。As-A軽石はサクの窪みに堆積していたため、軽石降下後に人為的な耕作や復旧等は施されていない畑であることが分かった。また、1号畑中央部やや南寄りに円形平坦面を確認した。平坦面は、「ハンギリオケ」を用いて堆肥や人糞と種を混ぜ合わせ、「アワセゴイ」や「タレゴイ」をつくる播種に伴う遺構とされる。1号畑北部から中央部にかけて耕作物が倒伏した痕跡を3か所確認できた。残存状況から作物を特定することは困難であったが、倒伏の様子から泥流が北東方向に流下したことが分かった。

(篠原正洋)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「草津」使用



調査区遠景(南から)



近世の畑(1号畑)全景(西から)



円形平坦面(南西から)

26・27 ^{うえぐりやま ね えー} 植栗山根 A・^{うえぐりなかはら} 植栗中原
^{お ぶちざわびー} 小湊沢 B 遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町植栗

担当者 塩谷貴彦・新井 仁

遺跡の立地

本遺跡は、吾妻川右岸の河岸段丘上に立地している。遺跡の標高は、約350～360mである。

調査の概要

本調査は、植栗伊勢線補助公共道路改築事業に伴う発掘調査で、調査面積は植栗山根 A 遺跡が74.03㎡、植栗中原遺跡が538.97㎡、小湊沢 B 遺跡が596.92㎡である。

遺構確認面は、植栗山根 A 遺跡がHr-FP下面(古墳時代後期) 1 面、植栗中原遺跡がAs-Kk下面(中近世)、Hr-FA下面(古墳時代後期)の 2 面、小湊沢 B 遺跡が中・近世面、Hr-FA下面(古墳時代後期)の 2 面である。

縄文時代 いずれの遺跡も遺構は検出されず、土器・石器が数点から数十点出土しただけである。

古墳時代 植栗山根 A 遺跡、小湊沢 B 遺跡で祭祀遺構と考えられる遺物集中を各 1 か所検出した。両遺跡とも 3～4 m×2 m の範囲に土器や玉類が集中して置かれており、さらに調査区外に続いている可能性がある。遺物は、土師器壺・甕・坏・高坏、白玉、石製模造品等が出土している。植栗中原遺跡では、調査区の北部から中南部にかけてHr-FA下面から水田が検出されている。1 区画が一辺 1～3 m の小区画水田である。

中・近世 植栗中原遺跡で、As-Kkを埋土に含む土坑 5 基・ピット24基を検出し、小湊沢 B 遺跡でAs-Kkを埋土に含む溝 3 条、土坑26基、ピット52基、自然流路 1 条を検出した。遺物は土師器、須恵器、中・近世陶磁器等が出土している。

(新井 仁)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「中之条」使用



植栗山根 A 遺跡遺物集中(北から)



植栗中原遺跡Hr-FA下水田(南から)



小湊沢 B 遺跡 2 面全景(上が西)

28 たてばやしじょうあと じょう か まち 館林城跡・城下町

所在地 館林市本町

担当者 松村和男・矢口裕之

遺跡の立地

本遺跡は館林市街地のある邑楽台地に立地する。調査区は館林城跡の城下町に位置し、近世の日光脇往還と太田往還沿いに面している

調査の概要

本調査は、(都)3.4.11中央通り線無電柱化推進計画事業に伴う発掘調査で、調査面積は405.08㎡である。約3面の遺構確認面を設定した。

旧石器時代 確認調査をおこなったが、遺物は出土しなかった。邑楽台地の中部ローム層直上の暗色帯にATの降灰層準を肉眼で確認した。

近世 地表下の焼土は文政7(1824)年の火災による可能性があり、1面からは19世紀前半の遺物が出土している。2・3面は17世紀前半～18世紀代の遺物が出土している。

最下面から検出された土坑や畑の主軸方位は隣接する日光脇往還の南北方向とは斜交しており、これらの遺構群は街道が成立した慶長2(1597)年以前、または江戸時代前半の時期の可能性がある。

調査した主な遺構は街道に沿って道路に並行して配列したピット群である。これらは当時の街道に面した町屋の間口付近の遺構と考えられるが、明確に建物や柱穴列と認識されるものは多くなかった。また、多くの柱穴には石や石製品が根石として使用されていた。複数の井戸や鍛冶炉の存在は、街道沿いの町屋の性格を示す遺構であると考えられる。

出土遺物も当時の生活用具である瀬戸・美濃陶器や肥前磁器の食器や貯蔵具と銭や金属製品、石臼などが挙げられ、羽口や鉄滓、鍛造剥片の出土、漆が付着した匙状金属器の出土は鍛冶や漆芸などの手工業の存在を示唆する。

(矢口裕之)



国土地理院5万の1地形図「古河」使用



調査区全景(西から)



根石に使われた石臼(東から)



土坑の遺物出土状況(真上から)

29 かな い すいとうさんびー 金井水頭山B遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町金井

担当者 松村和男・矢口裕之

遺跡の立地

本遺跡は榛名山の北麓末端にあたり、小河川によって開析された頂部に位置する。遺跡の東側の下には昨年度調査された金井水頭山遺跡があり、道を挟んだ北側には金井廃寺跡がある。標高は約390～400mである。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス事業に伴う発掘調査で、調査対象面積は1,479.09㎡である。大治3年(1128)の浅間山噴火に伴うAs-Kkの二次堆積下面と、ローム層上面の2面で調査を行った。

旧石器時代 ローム層の堆積が認められたことから確認調査を行なったが、遺物は確認できなかった。

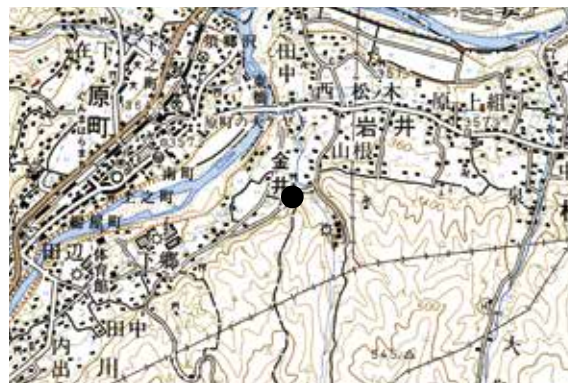
縄文～弥生時代 28基の土坑を調査したが、袋状を呈するもので貯蔵穴と考えられる。土坑内から遺物は確認できなかったが、表土や地山の中から縄文土器や石器がわずかに出土した。

古墳時代 古墳2基と土坑、ピットを確認した。1号墳はおよそ半分が林道によって失われていた。2号墳は石室の天井石も残っており、石室内及び裏込めから複数の玉類や鉄製品などが出土した。2号墳の羨道前には礫を並べた暗渠排水施設が設けられていた。盛土と考えられる土や出土遺物などから両古墳とも6世紀前半に位置付けられる。1号墳北の14号土坑からは若い馬の歯が出土し、放射性炭素年代測定の結果は6世紀代と判定されたため、古墳に伴い埋葬された可能性が考えられる。

奈良・平安時代 わずかに土師器や須恵器などが出土したが、遺構は確認できなかった。

中・近世 わずかに陶磁器類や寛永通宝、砥石などが出土したが、遺構は確認できなかった。

(松村和男)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「中之条」使用



縄文時代の土坑群(北から)



2号墳全景(西から)



14号土坑出土馬歯(東から)

30 たましな 玉科遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町川戸

担当者 松澤樹生・篠原正洋

遺跡の立地

本遺跡は榛名山麓を北流する深沢川が吾妻川へ合流する手前に形成された扇状地上に立地し、標高は430m前後である。西方約1.5kmには中世の山城岩櫃城跡がある。西側には深沢遺跡が隣接し、周囲には川戸古墳群がある。

調査の概要

本調査は上信自動車道吾妻東バイパス建設事業に伴う発掘調査で、調査面積は2,676.45㎡である。令和6年度からの継続調査で、遺構確認面は、第1面(中・近世、古代、古墳時代)、第2面(縄文時代)を設定し、今年度は主に第2面の遺物包含層と竪穴建物群の調査を実施した。

旧石器時代 調査区北半部に2m×4mのトレンチを設定し前橋泥流層上面まで旧石器確認調査を行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。

縄文時代 前期の竪穴建物1棟、中期の竪穴建物18棟、掘立柱建物1棟、土坑47基、ピット79基、集石3基、柱穴列1基等を確認した。竪穴建物は調査区の南部に集中し、多くの建物が切り合っていた。縄文集落はさらに南側の調査区外に展開するものと考えられる。前期の建物1棟は平面形状が方形で掘り込みが極めて深いこと、中期の建物は規模の大きな石囲炉と深い周溝を伴うことが特徴的であった。遺物包含層の調査も含め、出土遺物量はパン箱約120箱にも及んだ。

古墳時代 土坑1基を検出した。残存状態の良い馬具(轡・辻金具)が出土している。

中・近世 土壙墓1基、土坑2基、ピット2基を確認した。土壙墓からは人骨や副葬品が出土した。

(篠原正洋)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「中之条」使用



調査区全景(上が南)



縄文時代中期の竪穴建物(南から)



古墳時代の馬具出土状況(南から)

31 五町田上ノ山遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町五町田

担当者 松澤樹生・篠原正洋

遺跡の立地

本遺跡は、榛名山北麓末端の山麓傾斜面に立地する。標高は約345mである。本遺跡の西側には道上B遺跡や柳沢遺跡、東側には箱島下寄居遺跡が展開しており、当事業団が調査を行っている。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス2期事業に伴う発掘調査で、調査面積は1,693.00㎡である。Hr-FA(火砕流)の一次堆積層が30～40cmの厚さで確認できたため、遺構確認面を、第1面(Hr-FA上面)、第2面(Hr-FA下面)、第3面(ローム面)に設定した。

旧石器時代 2m×4mのトレンチを5か所設定し、前橋泥流層上面まで旧石器確認調査を行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。

縄文時代 中期の竪穴建物1棟、土坑77基、集石1基、焼土1基を確認した。竪穴建物は円形で石囲炉を伴い、栓状耳飾りや磨製石斧などが出土した。土坑は貯蔵穴と考えられる袋状土坑を多数検出した。また、浅鉢土器や小礫を伴う土坑も確認された。

古墳時代 溝1条、土坑3基、ピット1基を確認した。また、人為的な遺構ではないが、Hr-FAに伴う火砕流の流下の痕跡(線状衝撃痕)を調査区全体に多数確認した。

古代 竪穴建物1棟を調査した。建物の東側にはカマドが付設され、建築部材と考えられる炭化材が多数出土したが遺物は出土しなかった。

中・近世 As-Kk混土で埋没した土坑6基、畑4区画を確認した。土坑4基は大型で地境に列状に並び、貯蔵用目的の土坑の可能性がある。

(篠原正洋)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「中之条」使用



縄文時代中期の竪穴建物(東から)



縄文時代の貯蔵穴と考えられる土坑群(北東から)



古代の竪穴建物(西から)

32 五町田十二ノ前遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町五町田

担当者 田村 真・須田正久

遺跡の立地

本遺跡は榛名山北麓末端の山麓傾斜面に立地する。標高は約348mである。本遺跡の東側には五町田上ノ山遺跡がある。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス2期事業に伴う発掘調査で、調査面積は1,625.81㎡である。As-Kkの二次堆積層下面と、ローム上面の2面で調査を行った。

旧石器時代 2m×4mのトレンチを6か所設定し、前橋泥流層上面まで旧石器確認調査を行ったが、石器は確認できなかった。

縄文～弥生時代 土坑10基を確認した。このうち5基は陥し穴である。これらの遺構からは共伴する遺物がないため明確な時期は判断できないが、遺構確認面や堆積土状況からこの時期の遺構と考えた。隣接する五町田上ノ山遺跡からはこの時期の竪穴建物が確認されていることから、本遺跡は狩猟の場であった可能性が高い。

古墳時代 Hr-FAの一次堆積層が調査区東側のわずかな範囲で確認できたが、遺構・遺物は確認できなかった。

奈良・平安時代 土坑12基、ピット4基を確認した。遺物は土師器小片が出土している。

中・近世 土坑6基、ピット4基、畑6区画を確認した。これらの遺構はAs-Kkが混入することから中・近世の遺構と判断した。畑はすべて東西方向に耕作されている。遺物は陶磁器小片やキセルが出土している。

(須田正久)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「中之条」使用



調査区2面全景(北から)



縄文時代の陥し穴(西から)



近世の畑全景(西から)

33 やなぎさわびー 柳沢B遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町新巻

担当者 松澤樹生

遺跡の立地

本遺跡は、榛名山北麓吾妻川中流域の河岸段丘上に立地し、標高350m前後に位置する。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス2期事業に伴う発掘調査で、調査面積は254.73㎡である。

本年度は、昨年度の調査区と隣接する4区と5区で調査を実施した。遺構確認面は、第1面(古代～中・近世)と第2面(古墳時代)、第3面(縄文時代)、第4面(縄文時代)である。

旧石器時代 旧石器確認調査を行い、前橋泥流層まで掘削したが、当該時期の石器の出土は無かった。

縄文時代 昨年度、列石と配石が確認された黒色土中とローム漸移層上面で、竪穴建物1棟と土坑8基、ピット1基、列石1条、配石1基、埋甕1基を検出した。列石と配石は、昨年度2区で検出した続きが確認でき、列石はさらに調査区外北側へ伸びることが明らかになった。

古墳時代 Hr-FA下で、自然流路1条を検出した。Hr-FAが厚く堆積している様子が見て取れた。

中・近世 As-Kkとその混土直下で、As-Kk混土で埋没した土坑1基とピット3基、溝1条と自然流路1条を調査した。自然流路は昨年度2区で検出されたものの続きであることが明らかになった。

(松澤樹生)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「中之条」使用



4 区第 3 面全景(上が北東)



4 区 1 号列石全景(南西から)



5 区第 4 面全景(上が北)

34 つきよのえー 月夜野A遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町新巻

担当者 篠原正洋

遺跡の立地

本遺跡は榛名山北麓、吾妻川右岸の最上位段丘面上に立地する。遺跡の北東側は吾妻川の段丘崖、西・南・東側は泉沢川や小河川によって開析された谷が入り込み、島状の台地となっている。標高は約370mを測る。泉沢川を挟んで西側の段丘面には新巻膝附遺跡や小泉天神西遺跡、東側には縄文時代の列石や集落が確認された柳沢遺跡や柳沢B遺跡がある。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス2期事業に伴う発掘調査である。令和5年度の調査(1区)に引き続き、今年度は2区・3区の発掘調査を実施した。調査面積は295.78㎡である。表土下にAs-KkやHr-FAの一次堆積層が部分的に確認できたため、遺構確認面を第1面(As-Kk下面或いはHr-FA上面)と第2面(ローム漸移層上面)に設定した。

旧石器時代 3区に2m×4mのトレンチを設定し前橋泥流層上面まで旧石器確認調査を行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。

縄文時代 土坑8基、ピット5基を確認した。土坑の1基は袋状土坑であることから貯蔵穴で、早期の条痕文土器が出土していることから該期の遺構と考えられる。また、形状や規模などから陥穴と考えられる土坑3基も確認した。1基は壁面上部がやや外側に開き壁面下部は垂直に立つ形状で、その他2基は円筒状に壁が垂直に立ち上がる規模の大きな土坑である。3基とも出土遺物から早期あるいは前期に帰属する遺構と考えられる。

中・近世 畑2区画を確認した。どちらの畑も令和5年度調査の延長部分で、As-Kk混土で埋没していた。

(篠原正洋)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」使用



調査区遠景(南から)



縄文時代の土坑(貯蔵穴)(北から)



中・近世の畑(北東から)

35 わたぬきかなほり 綿貫金堀遺跡

所在地 高崎市綿貫町

担当者 塩谷貴彦・新井 仁

遺跡の立地

本遺跡は高崎市南東部の井野川右岸の微高地に立地し、標高は約70mである。

調査の概要

本調査は、量子機能創製研究センター棟施設整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は1,498㎡である。

遺構確認面は井野川起源の泥流層上面の1面のみである。

古墳時代 削平によるためか、古墳関係のものも含め、古墳時代の遺構は検出されなかった。表土や攪乱内から、埴輪の破片が数点出土している。

近・現代 旧陸軍岩鼻火薬製造所関係の遺構として、水路が検出されている。攪乱されている部分も多く、一部が検出されたのみであるが、陶器製の土管を繋いで造っており、土管には刻印のあるものもあった。また、レンガの集中地点が2か所確認されている。火薬製造所の建物に使ったレンガを再利用したものと考えるが、整然と並んでいる箇所もあり、人為的に置かれていた可能性が高い。他に砂利の入った溝状遺構、土坑等を検出した。

遺物は、赤レンガ、耐火レンガ、水路に使用した陶器製の土管、その他陶磁器類、ガラス瓶等が出土している。赤レンガには「上敷免」の楕円の刻印があるものがあり、耐火レンガは「SHINAGAWA」「NIHONTAIKAKOGYOU」「H.KATO & CO, LTD」等の製造所名がアルファベットで印刻されているものがほとんどであった。

(新井 仁)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「高崎」使用



旧火薬製造所水路全景(北西から)



レンガ集中地点全景(南東から)



出土耐火レンガ(西から)

V 付 篇：群馬県内の埋蔵文化財関連事業

1 令和7年度群馬県内発掘調査一覧

番号	遺跡名	所在地	調査担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
1	ぐんまけんちいきさうせいぶ 群馬県地域創生部 文化財保護課 県内遺跡	群馬県内	文化財保護課 石田 真 小林 正 今城未知 樋口典昭 生嶋柊哉 大川竜生	令和7年度群馬 県内公共開発に 伴う県内遺跡発 掘調査	令7.4.1～ 令8.3.31	試掘・確認調査
1	まえばし 前橋市 元総社蒼海遺跡群 (153)	元総社町	市教委 松村輝敏 新井 遥 村越純子	区画整理事業・ 985	令7.5.29～ 令8.2.26	古墳～近世竪穴建物7・竪穴状遺構2・ 溝(堀)13・井戸10・地下式土坑1・土 坑33・土墳墓3・粘土採掘坑3・ピット 407
2	もとそうじやおうみ 元総社蒼海遺跡群 (154)	元総社町	技研コンサル(株) 三宅敦気	区画整理事業・ 288	令7.7.28～ 令7.9.5	古代～中世竪穴建物2・道路状遺構1・ 溝(堀)3
3	もとそうじやおうみ 元総社蒼海遺跡群 (155)	元総社町	技研コンサル(株) 三宅敦気	区画整理事業・ 356	令7.11.6～ 令7.12.19	古代竪穴建物1・掘立柱建物1・溝3・ 採掘坑10
4	すいていこうぎくこふ 推定上野国府	元総社町	市教委 浅野孝利 小野美穂	学術調査・301	令7.6.5～ 令8.1.14	古墳竪穴建物3、古代溝3、中世溝4、 近代竪穴状遺構1、中世以降土坑26・ ピット23
5	かめさとまえだ 亀里前田遺跡	亀里町	山下工業(株) 山口逸弘	工場建設・ 12,647	令7.1.20～ 令7.5.24	As-B下水田・古代～中近世溝跡33・土 坑7・ピット100
6	とみだあらい 富田新井Ⅱ遺跡	富田町	(有)毛野考古学研究所 和久裕昭	道路管理施設築 造・321	令7.4.21～ 令7.5.28	縄文土坑1、古代竪穴建物1・井戸2、 中近世以降道路状遺構2
7	はらのどうしんやしき 原之郷新屋敷遺跡	富士見町原之 郷	山下工業(株) 山口逸弘	店舗建設・654	令7.10.6～ 令7.12.2	古代竪穴建物10
8	せいぶだいいちおちあい 西部第一落合遺跡 群(8)	元総社町	技研コンサル(株) 茂木祐輔	区画整理事業・ 489	令8.2.2～ 令8.3.27	古墳～古代竪穴建物32・溝3・畠1・ 竪穴状遺構5
9	そうじやひらつか 総社平塚遺跡	総社町総社	技研コンサル(株) 茂木祐輔	幼保連携型認定 こども園建築・ 1,109	令7.6.10～ 令7.8.8	古墳～中世竪穴建物31・掘立柱建物 15・鍛冶遺構1
1	たかさきし 高崎市 柴崎熊野前遺跡第 2次調査	柴崎町	市教委 関口拓海 小山海斗 矢島 浩	市道新設・220	令7.5.7～ 令7.7.10	古墳方形周溝墓1、中世溝1
2	たかさきしろ 高崎城遺跡第26次 調査	高松町	市教委 南雲博文 田村 孝 小野和之	市街地再開発事 業・900	令7.4.14～ 令8.10.30	古墳～古代竪穴建物9、古代柱穴1、 近世高崎城本丸堀、近代高崎歩兵第 十五連隊兵舎建物基礎・排水路
3	しもつじょう 下之城遺跡群第14 次調査	倉賀野町	市教委 須永 忍 櫻井 条 飯島克巳 間庭 稔	土地区画整理事 業・200	令7.4.1～ 令8.3.31	古代水田、近世大溝・掘立柱建物4
4	むなだか 棟高遺跡群第25次 調査	棟高町	市教委 清水智裕 神戸聖語	土地区画整理事 業・400	令7.4.1～ 令8.3.31	古墳周溝・畠
5	いひやつし 井出谷頭遺跡第9 次調査	井出町	市教委 清水智裕 山本ジェームズ	都市計画道路整 備・150	令7.4.8～ 令8.3.31	古墳溝6・畠、古代竪穴建物2
6	ふどうやま 不動山古墳	綿貫町	市教委 小山海斗 関口拓海 秋元恵理子 深澤みどり 矢島 浩 飛田野正佳	下水道敷設・45	令7.6.27～ 令7.7.31	古墳溝4・土坑4
7	ひきまこいけ 引間小池遺跡第2 次調査	引間町	(株)測研 藤巻幸男	自動車庫建設・ 1,413.12	令7.6.16～ 令7.7.31	古墳畠・道1・溝1、古代竪穴建物15・ 掘立柱建物4・溝2・土坑51

番号	遺跡名	所在地	調査担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
8	たご ちゅうへん 多胡碑周辺遺跡第 次調査	吉井町池	市教委 櫻井 条 須永 忍 飯島克巳 間庭 稔	範囲確認・574.9	令7.6.24～ 令7.11.14	古代竪穴建物14・掘立柱建物2・区画 溝・土橋
9	しもたき 下滝遺跡群	下滝町	市教委 大野義人 関口拓海 小山海斗 深澤みどり 矢島 浩 飛田野正佳 間庭 稔	商業施設建設・ 6,479	令7.9.1～ 令8.3.31	古墳竪穴建物1・溝1、古代竪穴建物 40・掘立柱建物12・土坑ピット130、中 世以降掘立柱建物9・溝15
10	きたやつ 北谷遺跡第4次調 査	引間町	市教委 山本ジェームズ 藤守崇洋	史跡内容確認・ 200	令7.9.2～ 令7.10.23	史跡北谷遺跡古墳豪族居館東柵列
11	いづかむらき や しま 飯塚芋屋敷第2次 調査	飯塚町	㈱パリノサーヴェイ 高野貴弘	宅地造成・ 306.84	令7.9.8～ 令7.10.2	古代水田
12	しばさきひら 柴崎東原遺跡第4 次調査	柴崎町	㈱高澤考古学研究所 山崎芳春	倉庫・事務所建 設・1,427	令7.10.16～ 令7.12.19	古代水田
13	こうずけこくふん に じ 上野国分尼寺跡第 9次調査	東国分町	市教委 田辺芳昭 清水智裕 金子智一	範囲内容確認・ 55	令7.11.13～ 令8.2.27	古代竪穴建物3・溝1・ピット列
14	ひ だかむらにし 日高村西遺跡第2 次調査	日高町	㈱高澤考古学研究所 澤田福宏	宅地造成・160	令7.12.1～ 令7.12.26	中世城館土塁・堀
15	やま の うえにし 山ノ上西古墳	山名町	市教委 須永 忍 白石 修	範囲確認・600	令7.4.1～ 令8.3.31	市史跡山ノ上西古墳羨門・羨道・前庭
16	しばさきひら 柴崎東原遺跡第6 次調査	柴崎町	㈱高澤考古学研究所 山崎芳春	倉庫・事務所建 設・1,427	令7.12.22～ 令8.3.10	古代水田
17	しん ぼ さんのお 新保山王遺跡	新保町	㈱高澤考古学研究所 澤田福宏	グループホーム 建設・776.16	令8.3.17～ 調査中	古墳竪穴建物5・溝1、古代溝2
18	たかぎきわく く び 高関岡久保遺跡	高関町	山下工業㈱ 永井智教	宅地造成・ 506.42	令8.2.17～ 令8.3.13	古代水田
19	しばさきひら 柴崎東原遺跡第5 次調査	柴崎町	技研コンサル㈱ 三宅敦気	倉庫・工場建設・ 2,919.1	令8.3.16～ 調査中	古代水田
20	うしろやま 漆山古墳	下佐野町	専修大学考古学研究 室 高久健二 小林孝秀	学術調査・34	令7.8.18～ 令7.9.6	市史跡漆山古墳墳丘
21	やわたふたごづか 八幡二子塚古墳	八幡町	駒澤大学考古学研究 室 寺前直人 角道亮介 藤野一之	学術調査・24	令8.2.17～ 令8.2.28、 令8.3.8～ 令8.3.13	市史跡八幡二子塚古墳前方部裾部
1	きりゅう し 桐生市 塚越遺跡	広沢町	市教委 新井雅幸 薄井 聡	宅地造成・873	令6.12.16～ 令7.4.30	古墳～古代 竪穴遺構9、溝10、ピット 94、土壇42、落ち込み18、風倒木7
2	あら い や しき 新井屋敷遺跡	新里町新川	市教委 加部二生	農地改良・315	令7.7.7～ 令8.3.27	縄文前期竪穴建物1、中世～近世礎石 建物1、地下式坑1、土塁(16世紀後 半)、弘仁地震地割れ
1	い せき し 伊勢崎市 塚下遺跡	上田町	市教委 早川隆弘	宅地造成・20	令7.5.19～ 令7.5.23	古代竪穴建物1
2	し せき た じま や へいせうたく 史跡田島弥平旧宅	境島村	市教委 横澤真一	内容確認・15	令7.6.4～ 令7.7.29	桑場基壇
3	さんげん や 三軒屋遺跡	上植木本町	市教委 出浦 崇	内容確認・145	令7.7.8～ 令7.9.16	古代礎石建物1、古代掘立柱建物2、中 近世土坑2、性格不明遺構1、ピット
4	しもす おうとう 下諏訪町遺跡	日乃出町	山下工業㈱ 永井智教	道路築造・330	令7.12.8～ 令8.1.22	古墳竪穴建物3、古代竪穴建物2、古 代・近世溝5、近世～近代土坑8、性 格不明遺構3、ピット20

番号	遺跡名	所在地	調査担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
5	石山南遺跡・石山南古墳群	下舐町	市教委 出浦 崇	内容確認・365	令7.12.1～ 令8.3.9	古墳1、古墳竪穴建物3
1	太田市 西田島遺跡	下田島町	市教委 長谷川幸男	道路改良・126	令7.5.23～ 令7.6.17	古墳周溝2・石槨墓1・溝1・土坑1
2	細谷南遺跡	細谷町	市教委 長谷川幸男	道路改良・69	令7.9.16～ 令7.9.26	古墳竪穴建物跡 1・土坑1・ピット1、古代竪穴建物跡1・溝1・土坑5・ピット2、中近世溝5
3	北之庄遺跡	由良町	(有)高澤考古学研究所 山崎芳春	宅地造成・120	令7.4.1～ 令7.5.7	古代竪穴建物跡3、中世土坑23・ピット9
1	渋川市 諏訪ノ木遺跡群	石原	市教委 高林真人	宅地造成工事・45	令7.10.22～ 令7.11.7	古代竪穴建物2・土坑2
1	藤岡市 保美地区遺跡群	保美	市教委 齋藤直樹	農業基盤整備事業・4,600	令7.6.4～ 令8.1.30	縄文住居1・竪穴状遺構1、古墳～古代住居75・土坑ピット200・溝3
1	富岡市 史跡旧富岡製糸場	富岡	市教委 水田雅美 津金澤古茂 腰塚徳司 原 雅信	学術調査・30	令7.4.1～ 令8.3.31	乾燥場・蒭扱場保存整備、煙突保存整備に伴う調査等
2	史跡中高瀬観音山遺跡	中高瀬	市教委 清水 司	学術調査・59	令7.4.1～ 令8.3.31	保存整備事業に伴う内容確認調査。弥生竪穴建物2
3	富岡坪之内遺跡	富岡	(株)シン技術コンサル 福嶋正史 笠原仁史	区画整理事業・863	令7.5.23～ 令7.11.20	調査はA～D区。古代竪穴建物10・掘立柱建物3・柵列1・竪穴遺構10・土坑25・ピット200・性格不明3、中世溝2・ピット2
4	富岡本宿・郷土遺跡	一ノ宮	(有)毛野考古学研究所 伊藤順一 竹中洋治 齊藤雄介	学校用地・3,800	令7.8.1～ 令8.3.19	古墳・平安の集落跡、中世の館跡。竪穴建物29、竪穴状遺構1、溝跡25、土坑102(墓壇・井戸含む)、不明遺構1、ピット約600
1	安中市 安中城Ⅵ	安中三丁目	市みりよく創出部文化財課 鳥居貴庸	学校施設新築工事・400	令7.4.7～ 令7.4.14	溝2
2	原森脇遺跡	松井田町原	市みりよく創出部文化財課 関根史比古	配水池建設工事・1,200	令7.5.12～ 令7.9.19	縄文竪穴建物3・配石墓26、古代竪穴建物11・溝3
3	田中・久保田遺跡	磯部2丁目	市みりよく創出部文化財課 関根史比古	工業団地造成・3,500	令7.10.1～ 令8.3.31	弥生竪穴建物2、古墳竪穴建物2、古代水田
1	みどり市 下り遺跡第1地点	東町神戸	市教委 平石冬馬	太陽光発電工事・72.2	令7.5.9～ 令7.6.20	中世城館跡遺物なし
2	岩宿Ⅱ遺跡第8地点	笠懸町阿左美	市教委 平石冬馬	宅地造成工事・4.0	令7.9.16～ 令7.10.6	旧石器遺構遺物なし
3	岩宿遺跡C地点	笠懸町阿左美	市教委 萩谷千明 平石冬馬	史跡整備に伴う事前調査・72.0	令7.11.10～ 令8.3.18	縄文土器・石器、現代トレンチ跡2
1	吉岡町 中御所遺跡	陣場	(株)飯塚組 千葉孝之 須藤和春	事務所兼店舗建設・130	令8.2.20～ 令8.3.18	古代竪穴建物4
1	中之条町 東谷風穴蚕種貯蔵所跡	赤坂	町教委 田村公夫 堀口真太郎	史跡整備・15.1	令7.4.30～ 令7.12.12	明治末～昭和頃風穴、石積解体
1	東吾妻町 仙人窟陣城跡(仙人窟)	大戸	明治大学黒曜石研究センター 栗島義明	内容確認(研究発掘)・13	令7.7.5～ 令7.7.15	縄文草創期文化層1・前期文化層1
1	大泉町 川入Ⅱ遺跡	古氷	町教委 坂本泰斗 (有)毛野考古学研究所 志村 哲	集合住宅建設および土地分譲・600	令7.7.1～ 令7.10.27	縄文屋外炉2・土坑9・柱穴26、古墳方墳1

2 令和7年度群馬県内整理事業一覧

番号	遺跡名	整理担当	整理期間	調査期間	遺跡の内容
1	前橋市 元総社蒼海遺跡群(152)	市教委 前田和明 村越純子	令7.3.1～ 令7.10.1	令6.6.9～ 令6.7.29	古墳竪穴建物1、平安竪穴建物4・土坑8・ピット1、中世堀1
2	元総社蒼海遺跡群(154)	技研コンサル(株) 三宅敦気	令7.9.8～ 令8.1.31	令7.7.28～ 令7.9.5	古代～中世竪穴建物2・道路状遺構1・溝(堀)3
3	元総社蒼海遺跡群(155)	技研コンサル(株) 三宅敦気	令7.12.22～ 令8.3.24	令7.11.6～ 令7.12.19	古代竪穴建物1・掘立柱建物1・溝3・採掘坑10
4	西部第一落合遺跡群(7)	市教委 村越純子 前田和明	令7.3.1～ 令8.1.31	令7.1.27～ 令7.2.25	古代～中世溝8・井戸1・ピット2、FA下水田、FA下畠
5	推定上野国府	市教委 浅野孝利 池田史人 小野美穂	令7.5.26～ 令8.3.27	令6.6.10～ 令7.1.17	古墳竪穴建物10、古代竪穴建物2・井戸2・溝2、中世溝2・土坑32・ピット240
6	亀里前田遺跡	山下工業(株) 山口逸弘	令7.5.26～ 令7.10.31	令7.1.20～ 令7.5.24	As-B下水田・古代～中近世溝33・土坑7・ピット100
7	総社平塚遺跡	技研コンサル(株) 茂木祐輔	令7.8.12～ 令8.1.31	令7.6.10～ 令7.8.8	古墳～中世竪穴建物31・掘立柱建物15・鍛冶遺構1
8	富田新井Ⅱ遺跡	(有)毛野考古学研究所 和久裕昭	令7.5.29～ 令7.11.28	令7.4.21～ 令7.5.28	縄文土坑1、古代竪穴建物1・井戸2、中近世以降道路状遺構2
1	高崎市 史跡浅間山古墳	市教委 大野義人	令6.10.1～ 令8.3.31	令5.1.16～ 令5.3.20、 令6.1.9～ 令6.3.7、 令6.7.2～ 令6.9.30	古墳外堀・中堤・葺石・竪穴建物1
2	新保塚遺跡	(株)測研 田中浩江	令7.2.15～ 令7.5.16	令7.1.6～ 令7.2.14	古代水田・溝3、中近世土坑1・溝1・土塁1
3	上中居前屋敷遺跡第5次調査	(有)毛野考古学研究所 和久裕昭	令7.3.3～ 令7.10.31	令7.2.3～ 令7.2.28	古墳土坑2、中世溝3・井戸2、中世～近世土坑3・ピット30
4	池西浦遺跡	市教委 飯島克巳	令7.4.1～ 令8.3.31	令4.2.14～ 令4.3.23	古代竪穴建物4
5	下之城遺跡群	市教委 飯島克巳	令7.4.1～ 令8.3.31	平23.9.14～ 平24.3.28、 平24.7.3～ 平25.3.29、 平25.7.4～ 平26.3.28、 平26.9.24～ 平27.1.21、 平27.10.26～ 平28.3.18	古墳竪穴建物、古代水田、中世～近世堀・土塁・溝・井戸、近世畠
6	引間小池遺跡第2次調査	(株)測研 藤巻幸男	令7.8.1～ 令8.3.31	令7.6.16～ 令7.7.31	古墳畠・道1・溝1、古代竪穴建物15・掘立柱建物4・溝2・土坑51
7	飯塚崩屋敷第2次調査	(株)バリノサーヴェイ 古矢聡江	令7.10.3～ 令8.3.31	令7.9.8～ 令7.10.2	古代水田
1	桐生市 新川-44遺跡	市教委 加部二生	令7.4.1～ 令8.3.31	令6.4.23	遺構なし
2	小田ノ沢遺跡	市教委 新井雅幸 薄井 聡	令7.4.1～ 令8.3.31	令6.6.5～ 令6.6.11	遺構なし
3	東宿遺跡	市教委 新井雅幸 薄井 聡	令7.4.1～ 令8.3.31	令6.7.8～ 令6.7.10	時期不明溝状若しくは竪穴状の落ち込み5

番号	遺跡名	整理担当	整理期間	調査期間	遺跡の内容
4	つかごし 塚越遺跡	市教委 新井雅幸 薄井 聡	令7.4.1～ 令8.3.31	令6.7.29～ 令6.11.20	古墳～古代住居と考えられる落ち込み 8・溝13・ムロ数10・ビット数10・倒木 13
5	やまかみ 山上-6遺跡	市教委 加部二生	令7.4.1～ 令8.3.31	令6.8.30～ 令6.9.10	遺構なし
6	しんめい 神明遺跡	市教委 新井雅幸 薄井 聡	令7.4.1～ 令8.3.31	令6.12.10～ 令6.12.12	時期不明ビットになりうる落ち込み数基
7	につかわ 新川-34遺跡	市教委 加部二生	令7.4.1～ 令8.3.31	令6.12.16～ 令7.3.21	中世土塁・地下式坑1・溝3、中近及び 近世礎石建物1
1	いせさきし あかぬま 赤沼遺跡	(有)高澤考古学研究所 石井克己	令7.4.1～ 令7.10.31	令6.5.9～ 令6.6.15	古墳土坑1、古代以降溝16・土坑14
2	いせさきじょうあと 伊勢崎城跡	山下工業(株) 青木利文	令7.6.9～ 令8.3.13	令6.12.9～ 令7.2.21	中近世堀1・井戸3・墓1・土坑11、近 現代建物基礎4・土坑6・溝2
3	かみうききはいじ 上植木廃寺	市教委 出浦 崇 毛野考研 宮本久子	令7.4.1～ 令8.3.31	昭57～平5	古代寺院
1	おおたし おおたしな 太田市内遺跡	市教委 長谷川幸男	令7.4.1～ 令8.3.31	令6.4.1～ 令7.3.31	太田市内遺跡56箇所
2	こまがたじんじやはにわ かまあと 駒形神社埴輪窯跡	市教委 岩井直人	令7.4.1～ 令8.3.31	昭62.4.5～ 昭62.7.8	古墳時代埴輪窯跡
3	せらだじんや 世良田陣屋遺跡	市教委 岩井直人	令7.4.1～ 令8.3.31	平15.2.10～ 平16.3.31	堀、溝、掘立柱建物等
4	せらだやちあと 世良田館跡	市教委 岩井直人	令7.4.1～ 令8.3.31	昭63.11.2～ 平1.1.17	中世竪穴状遺構1・掘立柱建物6・井戸 8・溝10・地下式坑4ほか
5	かさまつ 笠松遺跡	山下工業(株) 山口逸弘	令7.4.1～令 7.5.10	令6.11.1～ 令6.12.16	古代溝1・ビット、中近世溝5・井戸1・ 土坑8・ビット列3・ビット等
6	じょうのうち 城ノ内遺跡	(有)毛野考古学研究所 伊藤順一	令7.4.1～ 令8.2.28	令6.12.2～ 令7.3.26	古墳竪穴建物跡12、古代土坑37・溝5・ ビット134
1	ぬまたし 沼田市 林ノ上遺跡・高野原遺跡・佐々木 遺跡	市教委 向出博之	令7.4.1～ 令8.3.31	令5.4.1～ 令7.3.31	旧石器石器製作跡1・遺物集中ブロック 2・炭化物集中地点7・礫群7、縄文土 坑615、古墳円墳4・道跡2、古代竪穴 建物26・掘立柱建物10、中世竪穴状遺構 1・不明畝状遺構3・集石遺構10
1	たてぼしし なかやまのし 館林市 中山東遺跡	市教委 奈良純一	令7.12.12～ 令8.3.18	令6.7.23～ 令6.8.2	住居1・土坑15・溝3
2	なえぎ 苗木遺跡	市教委 奈良純一	令7.12.12～ 令8.3.18	令6.8.8～ 令6.9.3	住居3・土坑2
3	こぼし 小林遺跡	市教委 奈良純一	令7.12.12～ 令8.3.18	令6.11.8～ 令6.12.25	住居4・土坑8・溝6
1	しぶかわし はつまんじんじや 八幡神社遺跡	市教委 小林良光	令7.4.1～ 令7.7.31	平3.12.10～ 平4.3.31	古墳集落
2	しろいにいや 白井二位屋遺跡1、2、5	市教委 小林良光	令7.8.1～ 令8.3.31	平5～平9	古代集落
1	ふじおかし かみとつかにしほら 藤岡市 上戸塚西原B遺跡	(有)高澤考古学研究所 澤田福宏	令6.7.1～ 令7.6.30	令6.5.27～ 令6.6.28	古墳周溝1、中近世溝2・土坑2・ピッ ト18
2	ふじおかし 藤岡市226号古墳	(有)毛野考古学研究所 高橋清文 松本喜臣	令7.3.8～ 令7.5.30	令7.1.24～ 令7.3.7	縄文土坑1、古代竪穴住居5・土坑15

番号	遺跡名	整理担当	整理期間	調査期間	遺跡の内容
1	富岡市 T021遺跡	(株)シン技術コンサル 福嶋正史 笠原仁史	令7.3.1～ 令8.12.26	令6.11.1～ 令7.2.28	縄文土坑1・不明遺構1・包含層、弥生 住居6・土坑1・不明遺構1、古墳住居 2・不明遺構1
2	し せきまほうとみおかせい し じょう 史跡旧富岡製糸場	市教委 水田雅美 永井尚寿	令7.4.1～ 令8.3.31	平25.4.1～ 令7.3.31	近現代 西置繭所周囲・旧研究所跡・水 溜跡・工女寄宿舎跡・病室跡・候門所 跡・煉瓦造排水溝・土管・溝跡・便所15 周囲便槽外部・診療所北建物跡・囲炉裏 跡・煉瓦組燃焼施設・煉瓦組便槽・コン クリート便槽・乾燥場・繭扱場・レール・ 軌道跡・廃棄土坑・煙突
3	いち の みやにしにゆう もり 一ノ宮西丹生森遺跡	市教委 岡田侑子	令7.4.1～ 令8.3.31	令2.6.1～ 令3.3.19	古墳堅穴建物48、古代堅穴建物52、掘立 柱建物4、井戸4、溝6、土坑135、埋 設土器2
4	とみおかつぼ の うち 富岡坪之内遺跡	(株)シン技術コンサル 福嶋正史 笠原仁史	令7.11.21～ 令8.3.31	令7.5.23～ 令7.11.20	A・B区。古代堅穴建物2・掘立柱建物 2・柵列1・堅穴遺構2・土坑11・ピッ ト72・性格不明1、中世溝2・ピット2
1	あんなかし 安中市 安中城Ⅴ	市みりよく創出部文化財 課 鳥居貴庸	令7.4.2～ 令8.3.19	令7.1.6～ 令7.2.20	古代堅穴建物1、中世堀2、近世鍛冶炉 3・堀1・石組排水路3・井戸1・石敷 遺構1
2	まちきた 町北遺跡	市みりよく創出部文化財 課 鳥居貴庸	令7.4.1～ 令8.3.31	令6.4.1～ 令6.8.31	古代建物2・道路状遺構1・溝5・土坑 150・中世土坑150
3	あんなかじょう 安中城Ⅵ	市みりよく創出部文化財 課 鳥居貴庸	令7.4.7～ 令8.3.19	令7.4.7～ 令7.4.14	溝2
4	はらもりわき 原森脇遺跡	市みりよく創出部文化財 課 関根史比古	令7.8.28～ 令7.12.22	令7.5.12～ 令7.9.19	縄文堅穴建物3・配石墓26、古代堅穴建 物11・溝3
5	たなかだ く ぼ 田中田・久保田遺跡	市みりよく創出部文化財 課 関根史比古	令7.10.1～令 8.3.31	令7.10.1～ 令8.3.31	弥生堅穴建物2、古墳堅穴建物2、古代 水田
1	みどり市 岩宿Ⅱ遺跡第7地点	市教委 萩谷千明	令7.4.1～ 令8.3.25	令6.5.24～ 令6.7.18	旧石器石器2
1	つまどいむら 婦恋村 鎌原遺跡	村教委 関 俊明	令7.4.1～ 令8.3.10	昭54.7.26～ 令6.10.31	観音堂石段、延命寺跡他
1	たかやまむら 高山村 中山原遺跡	村教委 西形 貴典	令7.7.1～ 令8.2.27	令6.3.5～ 令7.3.14	縄文堅穴建物21・掘立柱建物13、弥生堅 穴建物5、古代堅穴建物12、中世堅穴建 物2
1	ひらしあがつままち 東吾妻町 せんになくつじんじょうあと せんになくつ 仙人窟陣城跡(仙人窟)	明治大学黒曜石研究セン ター 栗島義明	令7.7.16～ 令8.2.27	令7.7.5～ 令7.7.15	縄文草創期文化層1・前期文化層1
1	たまむらまち 玉村町 オトカ塚Ⅱ遺跡	町教委 中島直樹	令7.7.16～ 令8.3.19	令6.8.1～ 令7.3.24	古墳土坑2・ピット1・溝2・方墳1・ 前方後円墳1
1	おおいづみまち 大泉町 川入Ⅱ遺跡	町教委 坂本泰斗 (有)毛野考古学研究所 志村 哲	令7.11.4～ 令8.3.31	令7.7.1～ 令7.10.27	縄文屋外炉2・土坑9・柱穴26、古墳方 墳1

3 令和7年度群馬県内発掘調査報告書一覧

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
	群馬県地域創生部文化財保護課 群馬県公共開発事業に伴う令和6年度 県内遺跡発掘調査報告書	同左	縄文竪穴2・炉2・埋設土器1・集石1・配石1・ 土坑5・ピット1、古墳竪穴建物18・竪穴状遺構2・ 土坑3・ピット2・溝2、奈良竪穴建物7・遺物集 中部1、平安竪穴建物1・炭化物集中部1・ピット 1・畦1・道路5・溝8、古墳～平安竪穴建物1・ 掘立柱建物1・土坑11・ピット12・溝10、平安～近 世土坑1、中世～近世土坑3・ピット8・畦1・耕 作痕群2・道路4・溝32、近世墓地1・墓32・盛土 遺構1、近世畑159・土手1・道路15・溝28・足跡2、 時期不明焼土1	令7.6.30
1	群馬県埋蔵文化財調査事業団 樋越薬師遺跡	同左	縄文竪穴2・炉2・埋設土器1・集石1・配石1・ 土坑5・ピット1、古墳竪穴建物18・竪穴状遺構2・ 土坑3・ピット2・溝2、奈良竪穴建物7・遺物集 中部1、平安竪穴建物1・炭化物集中部1・ピット 1・畦1・道路5・溝8、古墳～平安竪穴建物1・ 掘立柱建物1・土坑11・ピット12・溝10、平安～近 世土坑1、中世～近世土坑3・ピット8・畦1・耕 作痕群2・道路4・溝32、近世墓地1・墓32・盛土 遺構1、近世畑159・土手1・道路15・溝28・足跡2、 時期不明焼土1	令7.6.30
2	しもがいと 下谷戸B遺跡	同左	縄文草創期遺物集中部2・竪穴建物4・土坑55・埋 設土器1・集石6・焼土1、古代土坑1・焼土1・ 炭化物集中1	令7.6.30
3	ふかさわ 深沢遺跡	同左	縄文竪穴建物11・土坑61・ピット370、弥生竪穴建 物1、古墳2、平安竪穴建物1・土坑16・堀1、江 戸土坑13	令7.8.28
4	さわのうえ 沢ノ上B遺跡	同左	古代土坑1・ピット1、中近世掘立柱建物23・土坑 88・ピット338	令7.8.13
5	やなぎさわ 柳沢遺跡	同左	縄文竪穴建物2・土坑13・ピット9、古墳竪穴建物 7・土坑1・ピット1、古代土坑2・ピット5、中 世以後掘立柱建物1・土坑6・ピット32、時期不明 土坑2・ピット14	令7.6.30
6	しみずかいと 清水貝戸遺跡	同左	平安竪穴建物2・溝5・As-B下水田、中近世溝11+ 土坑2、時期不明溝1	令7.9.26
7	はこじましもよりい 箱島下寄居遺跡	同左	縄文前期土坑53・ピット260、縄文中後期土坑142・ ピット537、古墳土坑106・ピット50・溝1・畑15・ 線状衝撃痕27、古墳～平安耕作痕群7、中近世土坑 35・溝11・畑2面・自然流路1	令8.3.12
8	もりしたみやばら 森下宮原遺跡	同左	旧石器文化層1、縄文竪穴建物1・土坑55・ピット8、 弥生竪穴建物3・再葬墓2・土坑15・ピット4、古 墳竪穴建物76・竪穴状遺構2・掘立柱建物12・土坑 29・ピット319・焼土2・巨石7、古代竪穴建物42・ 竪穴状遺構3・掘立柱建物26・土坑38・ピット557・ 焼土2・立石1・集石1、中近世土坑・ピット・溝	令8.1.27
9	おだざわ しもいづみ しもいづみ 小田沢遺跡・下泉A遺跡・下泉B遺跡	同左	〈小田沢〉古墳竪穴建物9・溝・畑・水田、古代竪穴 建物60・竪穴状遺構・掘立柱建物・土坑・井戸・溝・ 水田状遺構・畑・土手状遺構、中世竪穴状遺構・掘 立柱建物・柱穴列・土坑・溝・畑、近世掘立柱建物・ 土坑・溝・井戸・畑〈下泉A〉縄文弥生土坑・集石、 古墳溝・畑・土坑、古代溝・配石、中世土坑・溝、 近世掘立柱建物・竪穴状遺構・溝〈下泉B〉古墳竪穴 建物1・土坑、古代掘立柱建物3・土坑・溝	令8.3.25

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
10	いわい やまね 岩井山根B遺跡	同左	縄文竪穴建物1・焼土1・遺物集中1・土坑44・ピット3・溝1、弥生竪穴建物5、古墳竪穴建物9・土坑3・ピット3・溝4・畑7、古代竪穴建物4・掘立柱建物1・土坑1・ピット6・溝18・畑16・道1、中近世掘立柱建物6・竪穴状遺構1・柱穴列1・井戸1・土坑107・ピット63・溝24・畑1	令8.2.17
11	すいとう 水頭B遺跡	同左	縄文土坑2、古墳竪穴建物2・土坑4・溝1・ピット10、古代掘立柱建物1・土坑10・溝7・自然流路1・ピット5・道路状遺構1、中近世掘立柱建物1・柱穴列1・溝3・ピット34・畑3	令7.12.26
12	まえはし し 前橋市0327・0367遺跡	同左	縄文旧流路1、古墳竪穴建物7・方形周溝墓1・土坑2、古代竪穴建物2・溝2・ピット20、中世溝5・土坑8・ピット23、近世畑1・溝1・井戸2・ピット1	令7.12.25
13	つきよ の 月夜野A遺跡	同左	縄文竪穴建物22・土坑233・焼土4・ピット558、中世以降土坑13・溝3・溝状遺構6	令8.3.25
14	ら かんとほう 羅漢町遺跡(2)	同左	近世～近代土坑7・ピット22・溝1	令8.1.28
15	なか お さかてつざん せいぞつじょあと 中小坂鉄山・製鉄所跡	同左	近代土坑1・トロコ軌道1・石垣12・石組7・石列1	令8.1.28
16	なかばりにし 中堀西遺跡	同左	縄文ピット、古墳竪穴建物78・土坑137、平安竪穴建物7・土坑3・溝14、室町土坑12・溝16	令8.3.23
17	じん や 陣谷遺跡	同左	縄文竪穴建物2・竪穴状遺構1・埋設土器1・土坑2・ピット33、古墳竪穴建物66・竪穴状遺構6・掘立柱建物3・溝3・祭祀遺構2・井戸2・土坑18・ピット5、古代掘立柱建物10・柱穴列3・溝4・井戸6・土坑16・ピット115、中世以降掘立柱建物12・溝23・井戸14・土坑33・ピット77	令8.3.23
18	ひがしかみ の みや わかみや 東上之宮遺跡・若宮古墳群(1)	同左	縄文包含層1・土坑・埋設土器、古墳古墳5・方形周溝墓1・竪穴建物10・竪穴状遺構・土坑・焼土遺構、古代竪穴建物8・竪穴状遺構・土坑・溝・遺物集中、中世掘立柱建物1・土坑・溝、江戸水田1・畑1・墓地、その他掘立柱建物・井戸	令8.3.26
19	ほ だ た さかづめ 保渡田坂詰遺跡	同左	古墳水田・溝17・畝間溝群5・堰2・土坑3、平安水田、中世溝6・土坑1、近世溝	令8.3.24
1	まえはし し 前橋市 もとそうじやおう み 元総社蒼海遺跡群(152)	同左	古墳竪穴建物1、平安竪穴建物4・土坑8・ピット1、中世堀1	令8.2.20
2	もとそうじやおう み 元総社蒼海遺跡群(154)	同左	古代～中世竪穴建物2・道路状遺構1・溝(堀)3	令8.1.31
3	もとそうじやおう み 元総社蒼海遺跡群(155)	同左	古代竪穴建物1・掘立柱建物1・溝3・採掘坑10	令8.3.24
4	せい ぶ だいいちおちあい 西部第一落合遺跡群(7)	同左	古代～中世溝8・井戸1・ピット2、FA下水田、FA下畠	令8.3.23
5	すいていこうずけこく ふ 推定上野国府	同左	古墳竪穴建物10、古代竪穴建物2・井戸2・溝2、中世溝2・土坑32・ピット240	令8.3.27
6	かめさとまえ だ 亀里前田遺跡	同左	As-B下水田・古代～中近世溝33・土坑7・ピット100	令7.12.26
7	そうじやひらつか 総社平塚遺跡	同左	古墳～中世竪穴建物31・掘立柱建物15・鍛冶遺構1	令8.1.31
8	とみ だ あらい 富田新井Ⅱ遺跡	同左	縄文土坑1、古代竪穴建物1・井戸2、中近世以降道路状遺構2	令7.11.28
1	たかきさし 高崎市 しん ぼ つかごし 新保塚越遺跡	同左	古代水田・溝3、中近世土坑1・溝1・土塁1	令7.5.26

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
2	かみなかい まえ やしき 上中居前屋敷遺跡 5	同左	古墳土坑 2、中世溝 3・井戸 2、中世～近世土坑 3・ピット 30	令 7.10.31
3	令和 7 年度 し ない 市内遺跡		試掘・確認調査・工事立会の概要	令 8. 3.27
4	しも の じょう 下之城遺跡群 2	同左	古墳竪穴建物、古代水田、中世～近世堀・土塁・溝・井戸、近世島	令 8. 3.31
5	くら が の せんげんやま 倉賀野浅間山古墳 2	史跡浅間山古墳	古墳外堀・中堤・葺石・竪穴建物 1	令 8. 3.31
6	いけにしうら 池西浦遺跡	同左	古代竪穴建物 4	令 8. 3.31
7	い いづかむら やしき 飯塚単屋敷遺跡 2	同左	古代水田	令 8. 3.31
1	き りゅう し 桐生市 桐生市内遺跡発掘調査報告 —令和 5・6 年度調査—	新川-14遺跡・小林-6 遺跡・山上-28遺跡・三島台遺跡・中里後遺跡・中里後遺跡第 2 次・新川-44遺跡・山上-6 遺跡・新川-34遺跡・東宿遺跡・塚越遺跡・神明遺跡・小田ノ沢遺跡	令和 5・6 年度の桐生市内遺跡発掘調査報告	令 8. 3.18
1	い せ さき し 伊勢崎市 赤沼遺跡	同左	古墳土坑1、古代以降溝16・土坑14	令 7.10.31
2	令和 5 年度 し ない 市内遺跡確認調査報告書	八幡林遺跡ほか39遺跡	確認調査	令 8. 2.27
3	い せ さき し ちやう 伊勢崎城跡 6	同左	中近世堀 1・井戸 3・墓 1・土坑11、近現代建物基礎 4・土坑 6・溝 2	令 8. 3.13
1	お だ し 太田市 太田市内遺跡—令和 6 年度調査—	市内遺跡	太田市内遺跡56箇所の確認調査報告	令 8. 3.13
2	せ ら だ やしあど 世良田館跡	同左	中世竪穴状遺構 1・掘立柱建物 6・井戸 8・溝10・地下式坑 4 ほか	令 8. 3.31
3	かきまつ 笠松遺跡 5	同左	古代溝 1・ピット、中近世溝 5・井戸 1・土坑 8・ピット列 3・ピット等	令 7. 7.10
4	じょう の うち 城ノ内遺跡 2	同左	古墳竪穴建物12、古代土坑37・溝 5・ピット134	令 8. 2.27
1	たてはやし 館林市 館林市内遺跡発掘調査報告書	中山東遺跡・苗木遺跡・小林遺跡	〈中山東〉住居 1・土坑15・溝3〈苗木〉住居 3・土坑 2〈小林〉住居 4・土坑 8・溝 6	令 8. 3.20
1	しぶかわ し 渋川市 渋川市内遺跡19	K0111遺跡・有馬条里跡・中筋遺跡群・有馬寺畑遺跡・石原清水田遺跡・中村岡前遺跡・石原東遺跡 A 区・道訓前遺跡・北牧地内試掘調査・白井遺跡群・白井城跡・吹屋恵久保遺跡・吹屋三角遺跡(吹屋275-1)・小室六反田遺跡・後中後遺跡・吹屋三角遺跡(吹屋323-1)・諏訪ノ木遺跡群・西組遺跡・黒井峯遺跡	令和 6 年度市内遺跡範囲確認調査・試掘調査・工事立会	令 8. 3.13
1	ふじおか し 藤岡市 A27 藤岡市226号古墳	藤岡市226号古墳	古墳周溝 1、中近世溝 2・土坑 2・ピット18	令 7. 5.30
2	かみ と づかにしほら 上戸塚西原 B 遺跡	同左	縄文土坑 1、古代竪穴住居 5・土坑15	令 7. 6.30

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
3	市内遺跡32		令和7年度市内開発に伴う試掘確認調査	令8.3.19
1	富岡市 T021遺跡	同左	縄文土坑1・不明遺構1・包含層、弥生住居6・土坑1・不明遺構1、古墳住居2・不明遺構1	令7.12.26
2	史跡旧富岡製糸場内容確認調査報告書5	同左	診療所北・便所15部分・西置繭所繭所周辺・西置繭所繭所北・社宅71西・繰糸場・揚返工場西・寄宿舎南 遺物編	令8.3.31
3	富岡坪之内遺跡V(1)-A・B区-	同左	古代竪穴建物2・竪穴遺構2・掘立柱建物2・柵列1・土坑11・ピット72・性格不明2、中世以降溝2・ピット2	令8.3.31
1	安中市 安中城V・安中城VI	同左	古代竪穴建物1、中世堀2、近世鍛冶炉3・堀1・石組排水路3・井戸1・石敷遺構1・溝2	令8.3.19
1	みどり市 市内遺跡15	下谷戸C遺跡第2地点・岩宿Ⅱ遺跡第7地点・笠懸町西鹿田地内・北遺跡第12地点・岩宿Ⅱ遺跡第8地点	旧石器石器2、近世溝状遺構1	令8.3.25
1	下仁田町 荒船風穴蚕種貯蔵所跡調査報告書16	荒船風穴蚕種貯蔵所跡・春秋館跡	令和7年度実施事業、各種観測結果	令8.3.31
1	中之条町 東谷風穴蚕種貯蔵所跡 調査報告書8	同左	明治末～昭和中期風穴、石積解体	令8.3.25
1	長野原町 町内遺跡25	上原Ⅲ遺跡・居家以岩陰群・草木原遺跡・長野原一本松遺跡・坪井遺跡・嶋木Ⅰ遺跡・狩宿関所跡・長畝Ⅱ遺跡・与喜屋下田遺跡	令和6年度町内遺跡緊急発掘調査報告	令8.3.31
1	嬬恋村 鎌原遺跡 令和6年度調査報告	延命寺跡遺跡・天明大笹温泉引湯道跡	引湯道跡	令7.6.20
1	東吾妻町 仙人窟の調査<概要報告書>	仙人窟陣城跡(仙人窟)	縄文草創期文化層1・前期文化層1	令8.3.1
1	玉村町 オトカ塚Ⅱ遺跡	同左	古墳土坑2・ピット1・溝2・方墳1・前方後円墳1	令8.3.19
1	大泉町 川入Ⅱ遺跡(古氷古墳群8号墳)	川入Ⅱ遺跡	縄文屋外炉2・土坑9・柱穴26、古墳方墳1	令8.3.31

4 令和7年度群馬県内発掘調査現地説明会・関連行事など一覧

番号	遺跡名・行事名	場所	実施年月日	主催・共催	内容	見学者数
1	群馬県地域創生部文化財保護課 冬至の夕日鑑賞イベント	史跡観音山古墳	令和7.12.22	群馬県	墳丘からの夕日鑑賞・夕日(太陽光)のみで石室見学・講話	120
1	前橋市 小学生夏休み考古学教室	総社歴史資料館	令和7.7.24・25、 8.1・7・8・22	市教委	勾玉づくり・ハニワづくりなどの古代体験	107
2	まえばし古墳の教室	総社歴史資料館	令和7.12・18・19、 令和8.1.23、 2.13	市教委	古墳ジオラマづくり、チョコレート三角縁神獣鏡づくりなどの古代体験	63
3	元総社蒼海遺跡群(153)現地説明会	元総社町地内	令和7.8.30	市教委	発掘調査現場の説明と遺物展示解説	60
4	座繰り・桑の木クラフト体験	蚕糸記念館	令和7.5.10・17、 11.1	市教委	座繰り体験、桑の木でキーホルダー作成	164
5	新出土文化財展	臨江閣	令和7.10.28～ 令和7.11.9	市教委	令和6年度実施調査の速報展示	3,437
6	前橋・高崎連携事業文化財展	総社歴史資料館 (前橋会場)	令和8.1.31～ 令和8.2.15	市教委・高崎市 教委	「馬」をテーマに両市所有の文化財を展示	1,258
7	春季ミニ企画展	粕川歴史民俗資料館	令和7.4.26～ 令和7.8.31	市教委	「月田地蔵塚古墳のハニワ」と題し展示、 関連講座を実施	806
8	秋季企画展	粕川歴史民俗資料館	令和7.10.25～ 令和8.3.1	市教委	「宇通遺跡再び―赤城山山中の寺院遺跡を 探る―」と題し展示、関連講座を実施	890
9	文化財探訪	総社古墳群	令和8.2.21	市教委	総社古墳群、南下古墳群巡り	24
1	高崎市 漆山古墳現地説明会	市指定史跡漆山古墳	令和7.8.30	専修大学、市教委	古墳概要、発掘調査現場の説明	50
2	北谷遺跡発掘調査現地説明会	史跡北谷遺跡	令和7.10.5	市教委	発掘調査現場の説明	133
3	多胡碑周辺遺跡発掘調査速報展	多胡碑記念館	令和8.1.6～ 令和8.2.1	市教委	発掘調査成果について公開	—
4	前橋・高崎連携事業文化財展(高崎会場)	高崎シティーギャラリー	令和8.1.17～ 令和8.1.25	市教委・前橋市 教委	令和7年度展示テーマ『馬、来たる!』	1,177
5	上野国多胡郡正倉跡現地説明会	吉井町池	令和8.1.31	市教委	国史跡多胡郡正倉跡の追加指定を記念して、 史跡地を案内し解説	106
6	八幡二子塚古墳発掘調査現地見学会	市指定史跡八幡二子塚古墳	令和8.2.28	駒沢大学、市教委	古墳概要、発掘調査現場の説明	67
7	山ノ上古墳現地説明会	市指定史跡山ノ上古墳	令和8.3.1	市教委	発掘調査現場の説明	105
1	伊勢崎市 パネル展―宮柴前遺跡―	市清掃サイクルセンター 21	令和7.4.1～ 令和8.3.31	市教委	天明3年の浅間山大噴火により埋没した水田、畑、水路、人の足跡等の写真パネルを展示	—
2	埋蔵文化財パネル展「史跡上野国佐位郡正倉跡」	伊勢崎市図書館	令和7.10.11～ 令和7.11.9	市教委	上野国佐位郡正倉跡のパネルを展示	—
3	埋蔵文化財パネル展「史跡上野国佐位郡正倉跡」	赤堀歴史民俗資料館	令和8.1.10～ 令和8.2.1	市教委	上野国佐位郡正倉跡のパネルを展示	186
1	太田市 埋蔵文化財最新情報展 「いのちをつくる～反丸遺跡と石製祭具生産」	史跡金山城跡ガイダンス施設	令和8.1.17～ 令和8.3.15	市教委	反丸遺跡を中心に県内出土石製祭具を展示	3,396

番号	遺跡名・行事名	場所	実施年月日	主催・共催	内容	見学者数
1	沼田市 埋蔵文化財調査センター 収蔵施設及び資料見学会	沼田市埋蔵文化財 調査センター	令7.11.29	市教委	施設見学、拓本体験等	42
2	令和7年度沼田城跡調査 成果報告会	利根沼田文化会館	令8.2.15	市教委	調査成果報告、記念講演、出土資料展示、 物販	278
3	沼田横塚産業団地発掘調 査速報展	沼田市歴史資料館	令8.3.7～ 令8.4.12	市教委	調査成果展示、調査成果速報、展示解説	502
1	渋川市 夏休み子ども文化財教室	渋川市埋蔵文化財 センター	令7.7.28～ 令7.8.2	市教委	ハニワシャカシャカキーホルダーづくり	298
2	吾妻川、石の博物館	小野子地内吾妻川 河川敷、小野上公 民館	令7.8.23	市教委	岩石採集、標本作り	43
3	冬休み親子文化財教室	渋川市埋蔵文化財 センター	令7.12.25～ 令7.12.27	市教委	ハニワシャカシャカキーホルダーづくり	134
1	藤岡市 保美西浦遺跡F地点発掘 調査現地説明会	保美西浦遺跡F地 点	令7.10.13	市教委	保美西浦遺跡F地点発掘調査の現地説明 会	83
2	秋季企画展「再発見！時 代を創った古代藤岡のモ ノづくり」	藤岡歴史館	令7.11.1～ 令8.1.25	市教委	縄文・古墳・古代の藤岡市域でのモノづ くりをテーマとした展示	1,682
3	白石稲荷山古墳発掘調査 現地説明会	白石稲荷山古墳	令8.2.11	市教委	白石稲荷山古墳確認調査の現地説明会	150
1	富岡市 宮崎公園つつじ祭り プ レミアムデー	宮崎公園	令7.4.19	市教委	宮崎公園内のつつじ解説、旧茂木住宅解 説、子どもたちによるつつじの植樹、地 本物産品及び地元実業高校の花苗販売	550
2	富岡製糸場出土品特別展	史跡旧富岡製糸場 東置繭所	令7.11.1～ 令7.11.24	市教委	史跡旧富岡製糸場発掘調査出土品の展示	16,838
3	史跡中高瀬観音山遺跡現 地説明会	史跡中高瀬観音山 遺跡	令7.11.9	市教委	令和7年度発掘調査区の公開・解説	36
4	旧茂木家住宅たからさが し探検ツアー	旧茂木家住宅及び 宮崎公園	令8.3.20	市教委	旧茂木家住宅及び宮崎公園を舞台とした 宝探し及びクイズラリー	45
1	安中市 原遺跡現地説明会	松井田町原	令7.7.13	市みりよく創出 部文化財課	遺跡現地説明会	81
2	『安中の古墳』刊行記念連 続講演会「東国の玄関口 宇須比 ～安中の古墳 時代を考える～」	安中市学習の森ふ るさと学習館	全4回 ①令7.8.9 ②令7.10.26 ③令7.12.14 ④令8.2.15	市みりよく創出 部文化財課	講演会	①71 ②62 ③69 ④66
1	みどり市 岩宿遺跡・岩宿遺跡C地 点遺跡現地説明会	史跡岩宿遺跡内	令8.2.21	市教委	岩宿遺跡C地点の発掘調査成果を現地で 説明	63
1	榛東村 火起こし体験	榛東村耳飾り館	令7.5.4・5	榛東村耳飾り館	火起こし体験 近隣にあるしんとうふるさと公園のお祭 りに併せて実施(祭り主催：榛東村)	91
2	夏休みわくわくワーク ショップ	榛東村耳飾り館	令7.7.26～ 令7.8.24	榛東村耳飾り館	勾玉づくり、管玉づくり、アンギン編み のコースターづくり等の体験学習 関連企画展示あり	54

番号	遺跡名・行事名	場所	実施年月日	主催・共催	内容	見学者数
3	ママフェス出店	榛東村総合アリーナ	令7.10.5	ほっこりん・村教委	出展ブースのひとつとして、耳飾り館が出展。紋切りを実施(折り紙にはさみの入れ方で、茅野の耳飾りに似た文様ができてあがる工作)	30
4	秋冬ワークショップ	榛東村耳飾り館	令7.11.2～ 令7.12.13	榛東村耳飾り館	勾玉づくり、管玉づくり、アンギン編みのコースターづくり、土製耳飾りづくり等の体験学習	63
5	MiMiFES	榛東村耳飾り館	令7.11.9	榛東村耳飾り館	勾玉づくり、土製耳飾り作り等のワークショップ	12
6	縄文ワークショップ	榛東村耳飾り館	令7.11.22	榛東村耳飾り館	縄文時代について室内で学習および屋外で黒曜石の鎌づくり	28
7	岩板づくり	榛東村耳飾り館	令8.2.28	榛東村耳飾り館	白色凝灰岩に石で模様をつけ、お守りをつくるワークショップを初開催	39
1	よしおかまち 吉岡町 夏休みときめき講座2025 「ミニ人物ハニワづくり体験」	吉岡町教育委員会文化財センター	令7.8.20	町教委	ミニ人物ハニワづくり体験	21
2	南下古墳群石室公開デー	県指定史跡 南下古墳群	令7.11.22	町教委	南下古墳群石室の公開	39
3	吉岡町三津屋古墳シンポジウム	吉岡町文化センターホール	令8.2.11	吉岡町・町教委	三津屋古墳の講演会	505
1	ながののほろまち 長野原町 ジオパーク巡回展「地球時間の旅」	やんば天明泥流ミュージアム	令7.6.1～ 令7.6.30	日本ジオパークネットワーク	全国のジオパークを紹介する展示	1,028
2	秋季企画展「長野原の旅と街道～弥次さん喜多さん長野原をゆく～」	やんば天明泥流ミュージアム	令7.9.16～ 令7.11.30	町教委	近世の長野原の旅と街道の展示	3,051
3	土器ドキ*ウィーク2025	やんば天明泥流ミュージアム	令7.4.25～ 令7.5.11	町教委	ホンモノの土器を触ったりスケッチしたり、土器と触れあうCW恒例企画	851
4	ナイトミュージアム	やんば天明泥流ミュージアム	令7.7.26、令7.8.2・9	町教委	夏休みだけの夜間特別オープン	53
5	夏休み体験学習「カオなくん土偶をつくろう」	やんば天明泥流ミュージアム	令7.8.9～ 令7.8.11	町教委	オープン粘土で土偶レプリカづくり	29
6	企画展関連イベント「和綴じ豆本をつくろう」	やんば天明泥流ミュージアム	令7.10.11・25	町教委	「續膝栗毛」の豆本づくり	31
7	ミュージアムキッズデー「キジグルマをつくろう」	やんば天明泥流ミュージアム	令7.12.21	町教委	郷土玩具「キジグルマ」をつくろう	8
8	やんばく講座(全4回)	やんば天明泥流ミュージアム	令8.1.24・31、 2.7・14	町教委	全4回の教養講座	139
1	ひがしあがつままち 東吾妻町 「掘る女 縄文人の落とし物」映画上映会	東吾妻町コンベンションホール	令7.12.14	町教委	映画「掘る女 縄文人の落とし物」上映会と監督とのトークショー	140
2	第8回岩櫃城フォーラム「これからの上州真田三城」	東吾妻町コンベンションホール	令8.2.1	東吾妻町・町教委	上州真田三城と呼ばれている岩櫃城跡・名胡桃城跡・沼田城跡の調査、整備、活用の報告と担当者座談会	200
1	たまむらまち 玉村町 埴輪作り教室	玉村町文化センター	令7.8.4	町教委	小学生対象作品制作(8/4 やさしいコース・じっくりコース) 作品展示(8/22～8/31)	33
2	勾玉作り教室	玉村町文化センター	令7.8.8	町教委	小学生対象作品制作	35

番号	遺跡名・行事名	場所	実施年月日	主催・共催	内容	見学者数
3	歴史講座	玉村町文化センター	令8.3.14	町教委	歴史講座「金井沢碑の系譜 群馬の中近世の石碑から考える」	71
1	おうまちまち 邑楽町 邑っ子フェスワーク ショップ	邑楽町中央公民館	令7.9.21	町教委	勾玉づくり体験	18
2	邑楽町指定文化財展	邑楽町中央公民館	令8.1.24～ 令8.2.1	町教委	町収蔵出土遺物等展示	310

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 年報45

令和8(2026)年*月**日 発行

編集・発行/公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2

電話 0279-52-2511(代表)

URL <http://www.gunmaibun.org/>